

VocaLink -ゲートキーパー-

取扱説明書

このたびはVocaLink -ゲートキーパーをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

1
お使いになる前に

2
インストールする

3
設定する

4
メンテナンス

5
ご参考に




安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

Windows® 95は、Microsoft® Windows® 95 operating systemの略です。

Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

WindowsNT® 4.0は、Microsoft® WindowsNT® operating system Version 4.0の略です。

Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows、WindowsNTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

ご使用にあたってのお願い

外線へ電話をおかけになる際に、市外局番+市内局番+加入者番号(03-XXXX-XXXX)以外の電話番号および110番などの"1XX"で始まる3桁の局番なしの電話番号へ発信する場合は、VocaLink -ISDNゲートウェイの設定によっては相手先にかからない場合があります。

これらの電話番号への通話は、VocaLink システム以外の通常の電話を必ずご利用ください。

これらの電話番号の詳細については、VocaLink -ISDNゲートウェイ取扱説明書をご覧ください。

ご使用の際は取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本商品の誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本商品を改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

本書の中に掲載されている表示画面は、実際のものとは若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。



ワンポイント

市外局番+市内局番+加入者番号(03-XXXX-XXXX)以外の電話番号とは以下のような電話番号です。

1."1XX"で始まる3桁の局番なしの電話番号例

110:警察	119:火事・救助・救急	118:海の事故・事件(海上保安庁)	113:電話の故障
114:お話中調べ	115:電報受付	104:電話番号案内(有料)	117:時報(有料)
106:コレクトコールクレジット通話		100:100通話	
116:電話の新設・移転・各種サービスのお問い合わせ等		177:天気予報(有料) など	

2.短縮ダイヤルサービス

*00 ~ *19(共同メモリ使用の場合:*00 ~ *59)

3.伝言サービス

+ センタ番号 + 連絡番号 + 暗証番号 (例) #8600

4.ダイヤルQ2(情報料回収代行サービス)

0990-XXXXXX

5.テレゴング

0180-XXXXXX

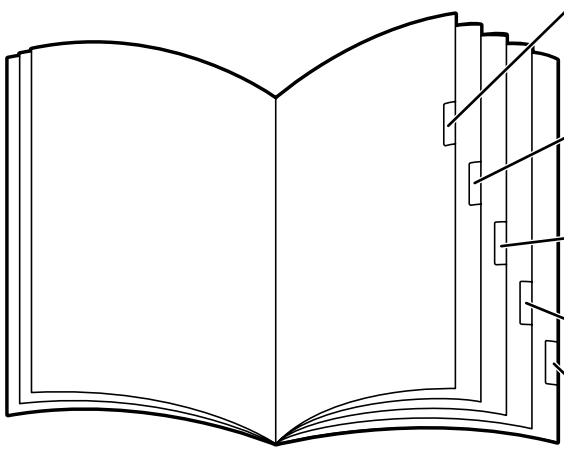
6.テレドーム

0180-99XXXX

など

この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成

- 
- 1** お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。また、本装置の接続方法についても説明しています。
 - 2** インストールする
ゲートキーパーサービスのインストール、アップグレード手順およびコンソールソフトのインストールや基本操作等について説明しています。
 - 3** 設定する
使用する前にあらかじめ行う、各種データ設定について説明しています。
 - 4** メンテナンス
状態確認方法などを説明しています。
 - 5** ご参考に
故障かな?と思ったときの確認方法などを説明しています。

ページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

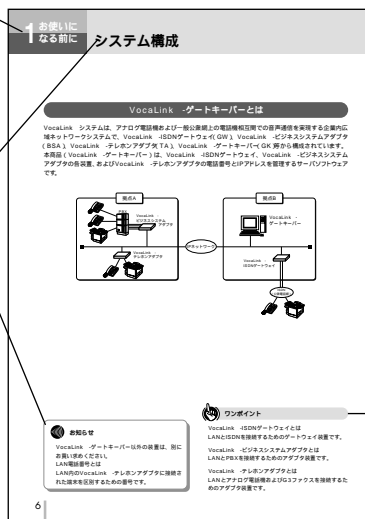
お願いまたはお知らせ

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをした場合、本商品の本来の性能を発揮できなったり、機能停止を招く内容を示しています。

お知らせ

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。



ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明をしています。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見方	4

1 お使いになる前に

システム構成	6
VocaLink -ゲートキーパーとは	6
特長	7
セットを確認してください	8

2 インストールする

事前準備	9
ゲートキーパーのインストール	10
ゲートキーパーのアップグレード	24
コンソールソフトのインストール	30
操作の流れ	31
コンソールソフトの起動および基本操作	32

3 設定する

設定画面の流れ	40
設定内容	41

4 メンテナンス

メンテナンス画面の流れ	57
パスワードを変更する	58
全システムデータを送信する	59
全システムデータを受信する(バックアップ)	60
ゲートキーパーを閉塞する	61
AnnexGでの接続状態を確認する	62
その他	63

5 ご参考に

故障かな?と思ったら	64
保守サービスのご案内	65
設定記入シート	66
索引	77

1
お使いになる前に

2
インストールする

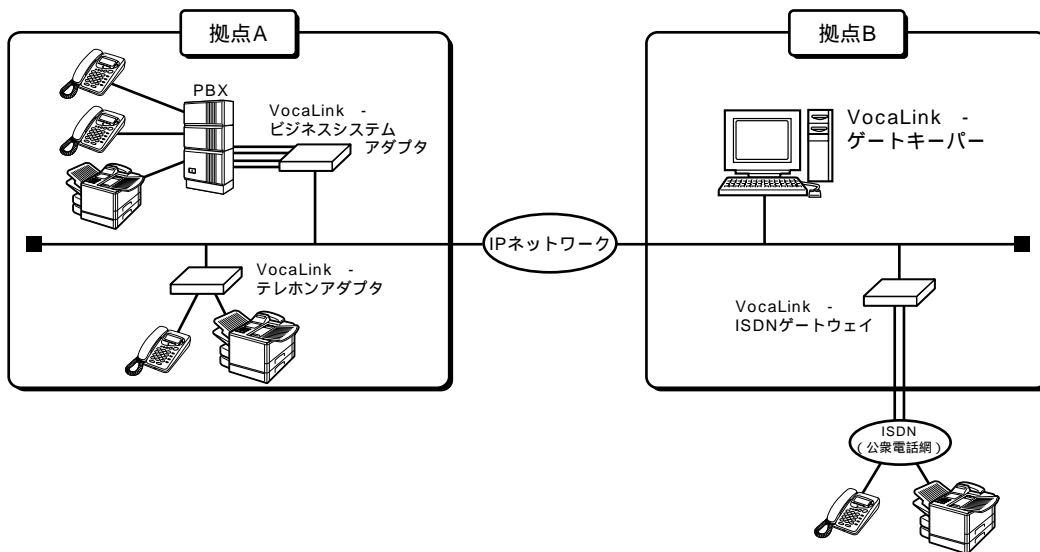
3
設定する

4
メンテナンス

5
ご参考に

VocaLink -ゲートキーパーとは

VocaLink システムは、アナログ電話機および一般公衆网上的の電話機相互間での音声通信を実現する企業内広域ネットワークシステムで、VocaLink -ISDNゲートウェイ(GW)、VocaLink -ビジネスシステムアダプタ(BSA)、VocaLink -テレホンアダプタ(TA)、VocaLink -ゲートキーパー(GK)等から構成されています。本商品(VocaLink -ゲートキーパー)は、VocaLink -ISDNゲートウェイ、VocaLink -ビジネスシステムアダプタの各装置、およびVocaLink -テレホンアダプタの電話番号とIPアドレスを管理するサーバソフトウェアです。



お知らせ

VocaLink -ゲートキーパー以外の装置は、別にお買い求めください。
LAN電話番号とは
LAN内のVocaLink -テレホンアダプタに接続された端末を区別するための番号です。



ワンポイント

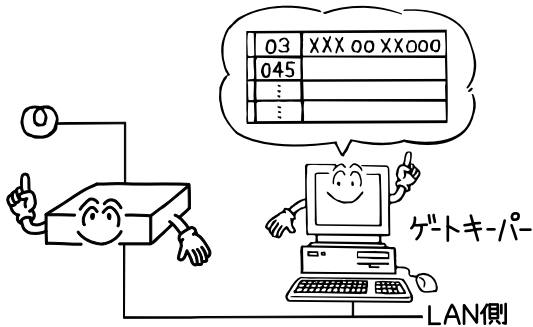
VocaLink -ISDNゲートウェイとは
LANとISDNを接続するためのゲートウェイ装置です。

VocaLink -ビジネスシステムアダプタとは
LANとPBXを接続するためのアダプタ装置です。

VocaLink -テレホンアダプタとは
LANとアナログ電話機およびG3ファクスを接続するためのアダプタ装置です。

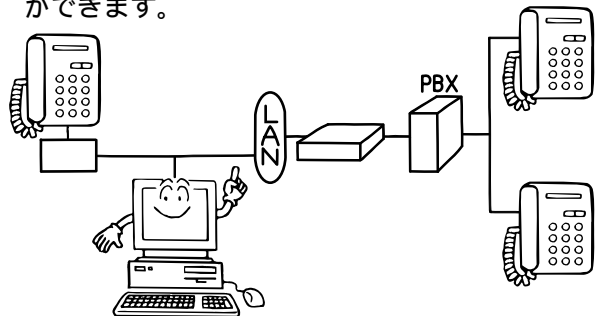
最適な通話経路を選択

市外局番とVocaLink -ISDNゲートウェイのIPアドレスを対応させて、通話先の市外局番に応じ最適な経路での発信ができます。



既存の電話システム利用

PBXやビジネスホンなどとVocaLink -ビジネスシステムアダプタを接続することにより、既存の電話システムからLAN上の電話機との通話ができます。



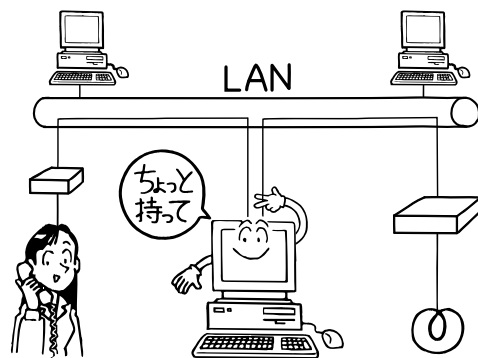
豊富なシステム機能

キャッチホン機能、転送機能、不在転送機能をサポートしています。また、VocaLink -ゲートキーパーの設定によって、内線代表機能が使用できます。



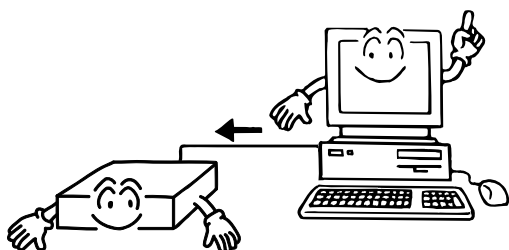
ネットワークに合った使い方

音声通話が他の通信に影響を与えないように、VocaLink -ゲートキーパーで制限が行えます。



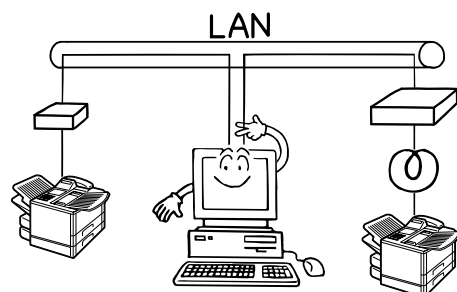
簡単な環境設定

専用のコンソールソフトを使用することによって、LAN上のパソコンやVocaLink -ゲートキーパーから各種設定をメニュー方式で簡単に行うことができます。

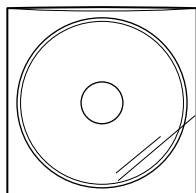


リアルタイムインターネットFAXを実現

標準に準拠し、LAN上でのリアルタイムのファクス通信を実現しています。ネットワークからの影響を最小限にするような工夫をしています。

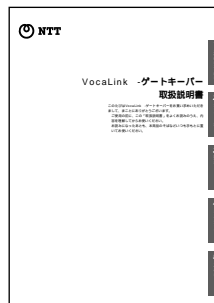


セットを確認してください

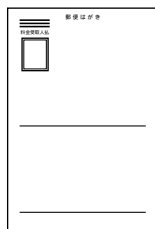


CD-ROM

- VocaLink - ゲートキーパーソフト
- VocaLink - ゲートキーパー設定用コンソールソフト



取扱説明書(1部)



アンケートハガキ(1枚)

お客さまでご用意していただくもの

VocaLink -ゲートキーパー用パソコン

(推奨:CPU-500MHz以上、HDD-5G以上、メモリ-256MB以上、LANカード実装、WindowsNT® Server4.0、Windows® 2000 ServerまたはWindows® 2000 Professionalインストール済みのもの)

LANケーブル(カテゴリ5、ストレート)

設定用パソコン(ゲートキーパー用パソコンでも可。Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、WindowsNT® 4.0、Windows® 2000 ServerまたはWindows® 2000 Professionalインストール済みのもの)

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁などがあった場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご連絡ください。

VocaLink -ゲートキーパーを使用する場合に必要なパソコンのスペックを示します。

PC-AT互換機

項目	推奨
CPU	Pentium 500MHz以上
ハードディスク	5GB以上
メモリ	256MB以上
LANカード	10BASE-T / 100BASE-TX
OS	<ul style="list-style-type: none"> • WindowsNT® Server4.0 SP6以上+ Microsoft Data Access Component 2.0 Service Pack1以上 • Windows® 2000 Server • Windows® 2000 professional

事前設定事項

ネットワーク設定 (TCP/IP設定)

- 設定方法に関しては、インストールするOSのマニュアルをご覧ください。
- 設定内容に関しては、ネットワーク管理者にご相談ください。



ワンポイント

インストールを行うパソコンのスペックは、推奨の値です。推奨以下のスペックのパソコンでの動作は、保証できない場合がありますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご確認ください。

1
お使いになる前に

2
インストールする

3
設定する

4
メンテナンス

5
ご参考に

ゲートキーパーのインストール

ゲートキーパーサービスのインストールの手順について説明します。

1. ゲートキーパーサービスのユーザアカウントの設定

Windows NT

- 1 Windows NT® Server に"Administrator"でログオンします。
- 2 タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、スタートメニューから「プログラム」-「管理ツール(共通)」-「ドメインユーザマネージャ」の順にクリックします。
- 3 『ユーザマネージャ』ウィンドウでメニューバーの「ユーザー」-「新しいユーザー」を順にクリックします。
- 4 『新しいユーザー』ウィンドウの「ユーザー名」欄に"VocaLink"を入力します。
- 5 「パスワード」欄に、"VocaLink"を入力します。
- 6 「パスワードの確認入力」欄に、再度パスワードを入力します。
- 7 「ユーザーは次回ログオン時にパスワード変更が必要」のチェックをはずします。
- 8 「パスワードを無期限にする」をチェックします。



ワンポイント

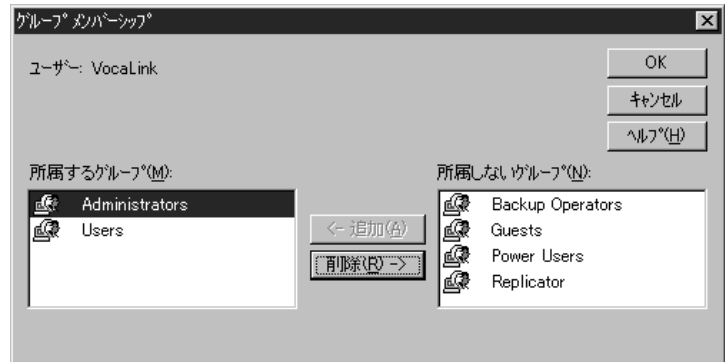
ユーザ名・パスワードについては一例を示しています。



お知らせ

コンソールソフトのインストールをする場合は、他の起動中のプログラムはすべて終了してください。
このページの内容は一例を示しています。

9 「グループ」をクリックします。



10 『グループメンバーシップ』ウィンドウで"所属しないグループ"欄から"Administrators"をクリックし、"追加"をクリックします。

11 『グループメンバーシップ』ウィンドウで [OK] ボタンをクリックします。

12 『新しいユーザー』ウィンドウで [追加] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリックします。

13 『ユーザマネージャー』ウィンドウでメニューバーの「ユーザー」-「ユーザーマネージャの終了」の順にクリックします。

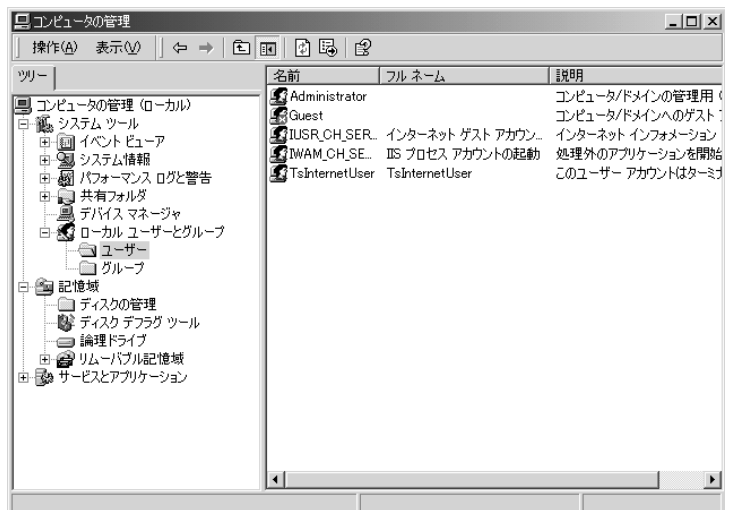
14 タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、"シャットダウン"をクリックします。

15 "アプリケーションを終了し、ログオフする"をチェックし、[はい] ボタンをクリックします。

16 "VocaLink"ユーザアカウントでログオンします。

Windows 2000

- 1 Windows® 2000に"Administrator"でログインします。
- 2 タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、スタートメニューから「プログラム」-「管理ツール」-「コンピュータの管理」の順にクリックします。
- 3 ツリーの画面にて、「ローカルユーザーとグループ」の「ユーザー」を選び、マウスを右クリックします。



- 4 表示されたメニューより、「新しいユーザー」を選択します。



ワンポイント

ユーザ名・パスワードについては一例を示しています。

- 5 『新しいユーザー』ウィンドウの「ユーザー名」欄に"VocaLink"を入力します。

- 6 「パスワード」欄に"VocaLink"を入力します。

- 7 「パスワードの確認入力」欄に"VocaLink"を入力します。



お知らせ

コンソールソフトのインストールをする場合は、他の起動中のプログラムはすべて終了してください。
このページの内容は一例を示しています。

- 8 「ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要」のチェックをはずして、「パスワードを無期限にする」をチェックします。

新しいユーザー

ユーザー名(U): Vocalink

フルネーム(F):

説明(D):

パスワード(P): *****

パスワードの確認入力(C): *****

ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)

ユーザーはパスワードを変更できない(S)

パスワードを無期限にする(W)

アカウントを無効にする(D)

作成(E) 閉じる(O)

- 9 [作成] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリックします。

- 10 『コンピュータの管理』ウィンドウで、「ローカルユーザーとグループ」の「ユーザー」で登録した「VocaLink」をダブルクリックします。

- 11 『VocaLinkのプロパティ』ウィンドウで、所属するグループのタブをクリックします。

- 12 [追加] ボタンをクリックします。

グループの選択

場所(L): VOCALINK-GK

名前	フォルダ
Administrators	VOCALINK-GK
Backup Operators	VOCALINK-GK
Guests	VOCALINK-GK
Power Users	VOCALINK-GK
Replicator	VOCALINK-GK
Users	VOCALINK-GK

追加(A) 名前の確認(O)


<< 名前をセミコロンで区切って入力するか、または一覧から選びます >>

OK キャンセル

(前ページの続きです)

- 13 名前の欄から "Administrators" をクリックし、[追加] ボタンをクリックします。その後、[OK] ボタンをクリックします。



- 14 『VocaLinkのプロパティ』 ウィンドウで [OK] ボタンをクリックします。
- 15 『コンピュータの管理』 の [閉じる] ボタン () をクリックして、ウィンドウを終了します。
- 16 タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、"シャットダウン" をクリックします。
- 17 "Administratorのログオフ" をチェックし、[OK] ボタンをクリックします。
- 18 "VocaLink" ユーザアカウントでログオンします。

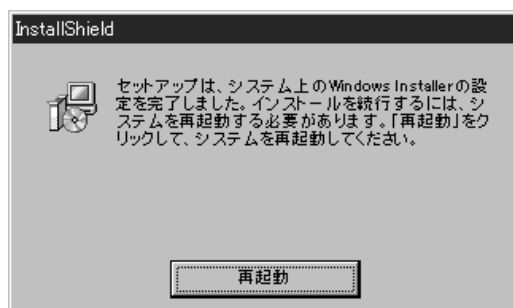
2. ゲートキーパーサービスのインストール

- 1 VocaLink -ゲートキーパーのCD-ROMを挿入します。
- 2 タスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 "名前"欄に"D:¥VocaLink2¥GK-Service¥Setup.exe"を入力し、[OK]ボタンをクリックします。(CD-ROMが、Dドライブの場合)



- 「InstallShieldウィザード」画面が表示された場合は、手順7に進みます。

- 4 セットアップ用のモジュールがインストールされていない場合、以下のような画面が表示されます。[再起動]ボタンをクリックすることにより、コンピュータが再起動されます。



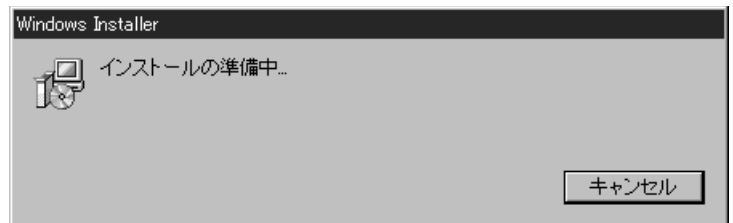
- セットアップ用のモジュールがインストールされている場合は、この画面は表示されず、「InstallShieldウィザード」画面を表示します。

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

5 コンピュータが再起動したところで、再度 "VocaLink" ユーザアカウントでログオンを行います。(ログオンするユーザアカウントは、手順1～4の操作を行ったときと同じものを使用してください。)

6 ログオンが行われると、以下のような画面が表示されます。インストールの準備が終了すると、「InstallShieldウィザード」画面が表示されます。

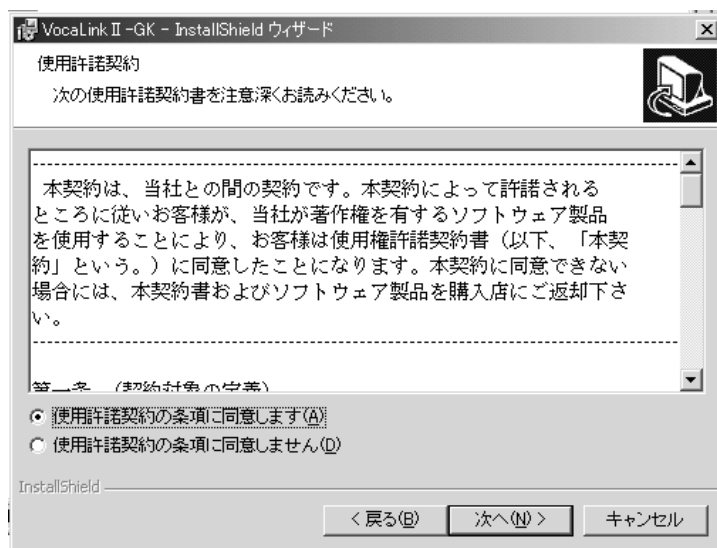


- [キャンセル] ボタンを押した場合は、インストールを最初から行う必要があります。
- インストールの準備が終わり、「InstallShieldウィザード」画面が表示されなかった場合は、手順2より再度操作してください。

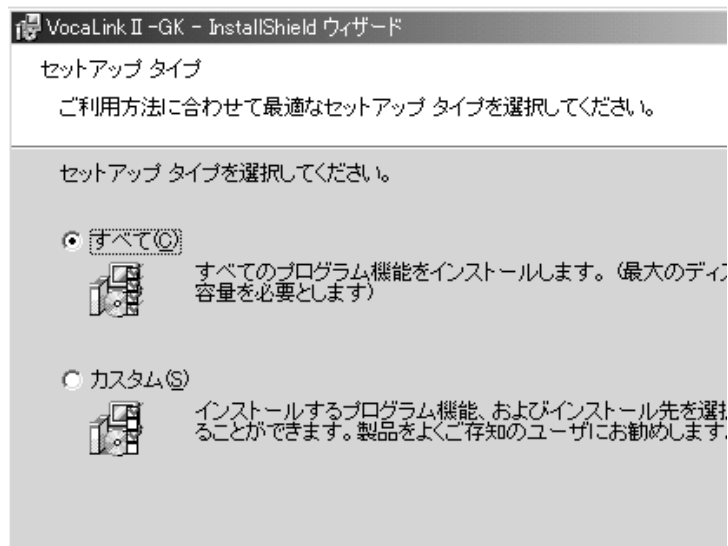
7 「InstallShieldウィザード」画面で [次へ] ボタンをクリックします。



- 8 使用許諾契約の画面で契約内容をよく読み、同意する場合は、"使用許諾契約の条項に同意します"をチェックして、[次へ] ボタンをクリックします。



- 9 セットアップタイプの画面で、セットアップタイプの"すべて"をチェックして、[次へ] ボタンをクリックします。手順11へ進みます。
(インストール先を変更したい場合は、セットアップタイプの"カスタム"をチェックして、[次へ] ボタンをクリックします。手順10へ進みます。)



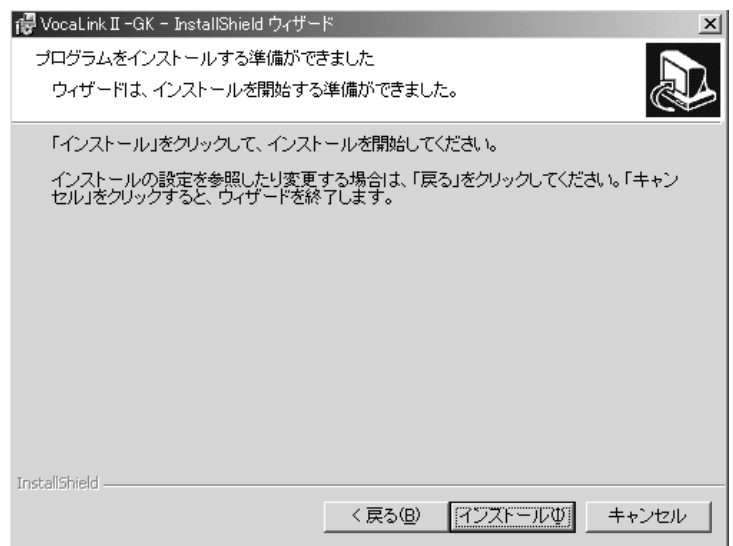
(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

- 10 カスタムセットアップの画面にて、インストール先を指定して、[次へ] ボタンをクリックします。
(機能のインストール方法は変更しないでください。)

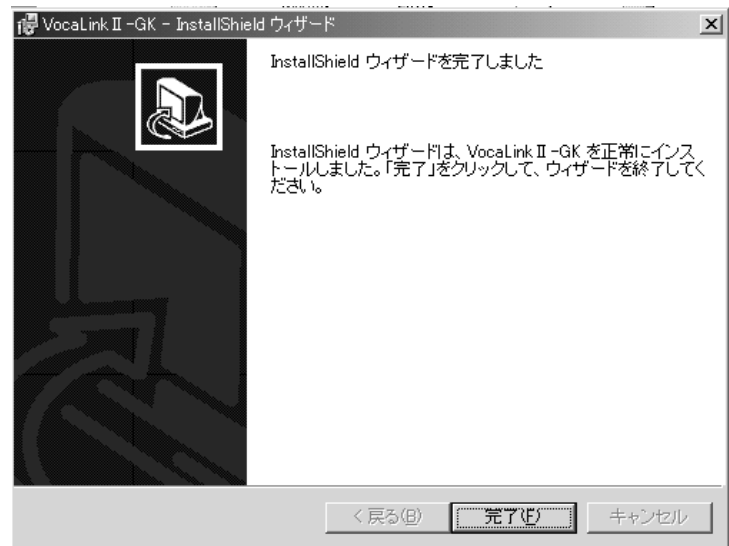


- 11 インストールを開始する場合は、[インストール] ボタンをクリックします。



- 12 ファイルのコピー・インストールを開始します。

13 インストールが終了したら、「完了」ボタンをクリックします。



14 VocaLink II -GK -ゲートキーパーのCD-ROMを取り出します。

3. 起動アカウントの設定

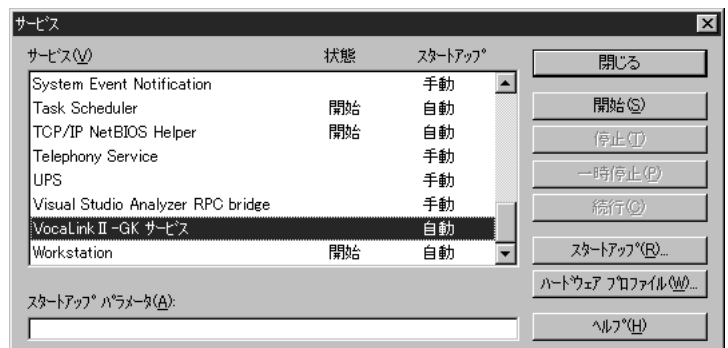
Windows NT

1 タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、スタートメニューの「設定」-「コントロールパネル」を順にクリックします。

2 『コントロールパネル』ウィンドウにて [サービス] アイコンをダブルクリックします。



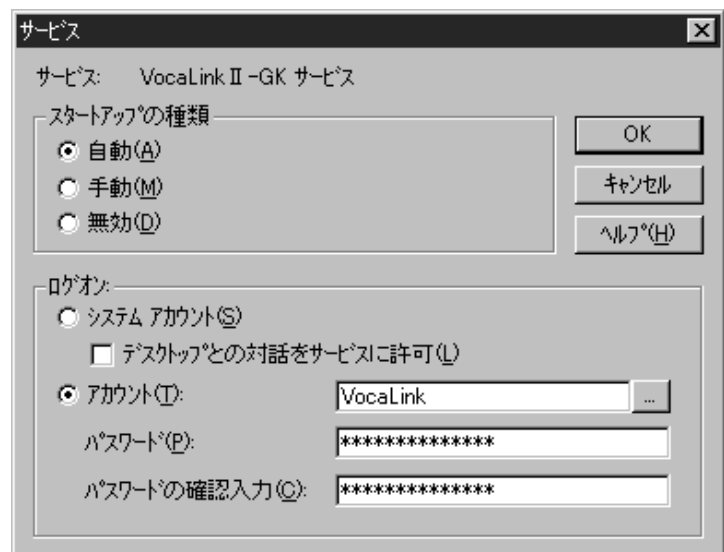
3 「サービス」一覧の "VocaLink -GK サービス" を選択し、[スタートアップ] ボタンをクリックします。



4 『サービス』ウィンドウで「ログオン」枠内の"アカウント"をチェックします。

5 「アカウント」欄に"VocaLink"を入力し、「パスワード」欄に「1.ゲートキーパーサービスのユーザアカウントの設定」で設定したパスワードを入力します。

6 「パスワードの確認入力」欄に再度パスワードを入力します。



7 [OK] ボタンをクリックします。

8 『サービス』ウィンドウで、[閉じる] ボタン (X) をクリックします。

9 『コントロールパネル』ウィンドウでメニューバーの「ファイル」-「閉じる」を順にクリックします。

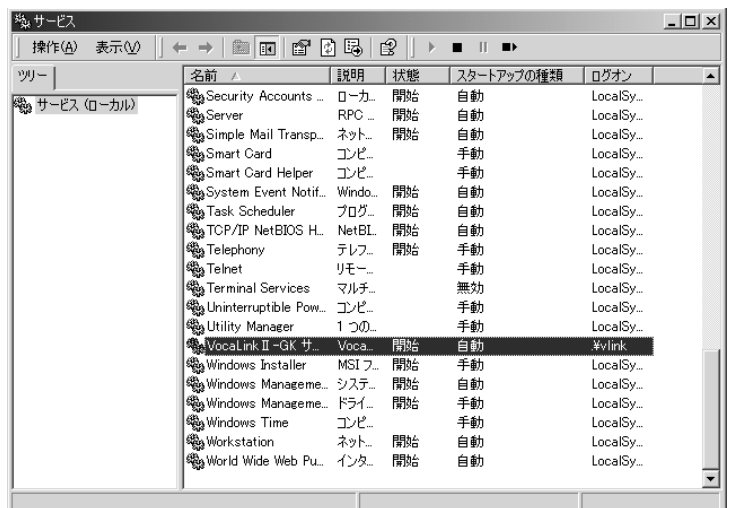
STOP お願い

アカウント・パスワードは、「1.ゲートキーパーサービスのユーザアカウントの設定」で設定したユーザ名とパスワードを使用してください。(●P10)

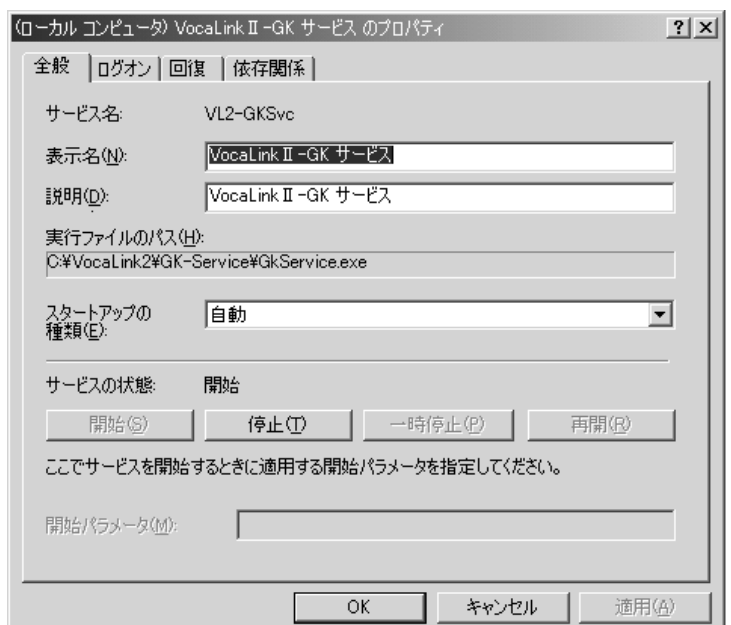
ゲートキーパーのインストール

Windows 2000

- 1 タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、スタートメニューから「プログラム」-「管理ツール」-「サービス」の順にクリックします。
- 2 「サービス」ウィンドウで、名前の中から "VocaLink -GKサービス" をダブルクリックします。



- 3 『VocaLink -GKサービスのプロパティ』ウィンドウで、全般のタブをクリックします。
- 4 スタートアップの種別を"自動"に設定します。

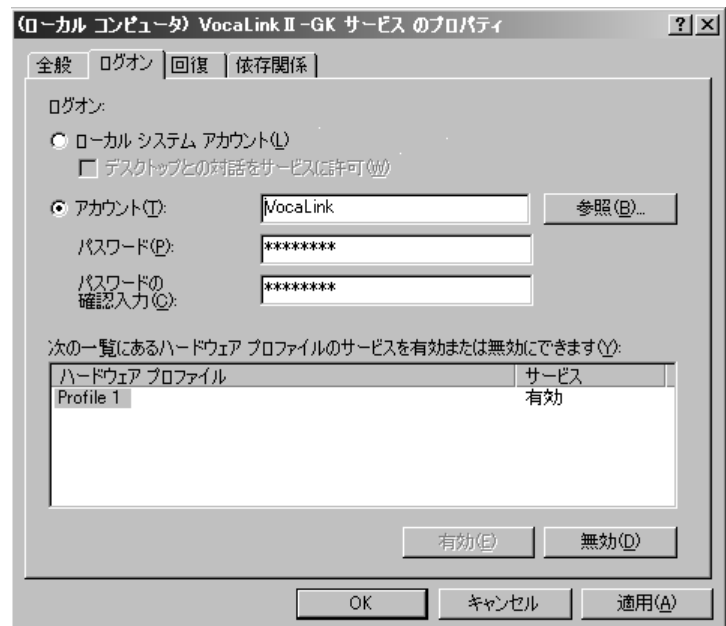


5 『VocaLink -GKサービスのプロパティ』 ウィンドウで、ログオンのタブをクリックします。

6 ログオンの"アカウント"をチェック () します。

7 「アカウント」欄に"VocaLink"を入力し、「パスワード」欄に「1.ゲートキーパーサービスのユーザアカウントの設定」で設定したパスワードを入力します。

8 「パスワードの確認入力」欄に再度パスワードを入力します。



9 [OK] ボタンをクリックします。

10 『サービス』 ウィンドウで、[閉じる] ボタン () をクリックします。

4.再起動

1 タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、「シャットダウン」をクリックします。

2 「コンピュータを再起動する」をチェックし、[はい] ボタンをクリックします。

STOP お願い

アカウント・パスワードは、「1.ゲートキーパーサービスのユーザアカウントの設定」で設定したユーザ名とパスワードを使用してください。(●P12)

ゲートキーパーのアップグレード

ゲートキーパーサービスのアップグレードの手順について説明します。

1.ゲートキーパーのシステムデータバックアップ

1 ゲートキーパーがインストールされているパソコンに"VocaLink"でログオンします。(インストールを行った名前でログオンしてください。)

2 コンソールソフトを使って、ゲートキーパーの動作の閉塞を行います。

オンライン-GK-保守 ゲートキーパー閉塞 を参照。(▶P61)

3 システム閉塞完了後、全システムデータの受信(バックアップ)を行います。

オンライン-GK-保守 全システムデータ受信 を参照。(▶P60)

2.ゲートキーパーサービスのアンインストール

WindowsNT

1 タスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューの「設定」-「コントロールパネル」を順にクリックします。

2 『コントロールパネル』ウィンドウにて「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。



- 3 『アプリケーションの追加と削除のプロパティ』 ウィンドウにて"VocaLink II -GK"を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。



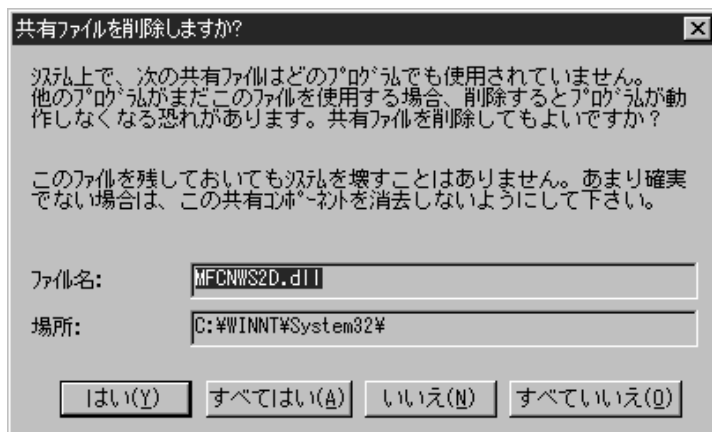
- 4 『ファイル削除の確認』 ウィンドウにて [はい] ボタンをクリックします。



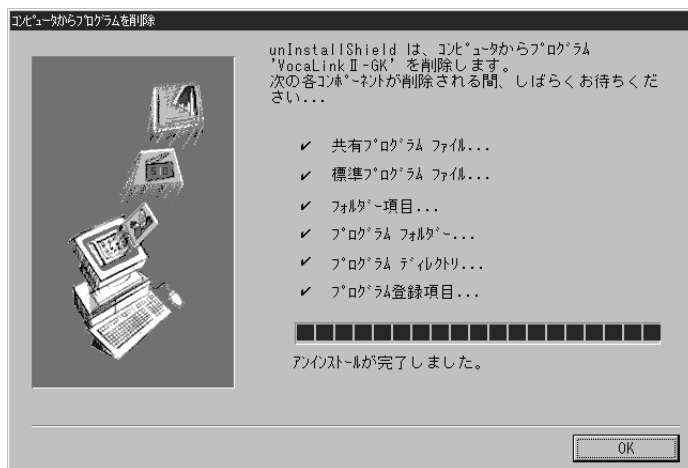
(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

- 5 『共有ファイル削除の確認』ウィンドウが表示された場合は、[すべていいえ] ボタンをクリックします。



- 6 アンインストールが完了したら [OK] ボタンをクリックします。



- 7 『アプリケーションの追加と削除のプロパティ』ウィンドウにて、[OK] ボタンをクリックします。

Windows 2000

- 1 タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、スタートメニューの [設定]-[コントロールパネル] を順にクリックします。

- 2 『コントロールパネル』ウィンドウで「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。



- 3 『アプリケーションの追加と削除』ウィンドウで "VocaLink II -GK" を選択し、[削除] ボタンをクリックします。



(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

- 4 『アプリケーションの追加と削除』ウィンドウで、[はい] ボタンをクリックします。



- 5 アンインストールが終了すると、以下のように『アプリケーションの追加と削除』ウィンドウが変わりますので、[閉じる] ボタンをクリックして、アプリケーションの追加と削除を終了します。



3.ゲートキーパーサービスの再インストール

- 1 アップグレード用のVocaLink -ゲートキーパーのCD-ROMを用意して、ゲートキーパーのインストールの「2.ゲートキーパーサービスのインストール」より「4.再起動」までを実行します。(●P 15～23)

4.ゲートキーパーのシステムデータ設定(バックアップデータの復旧)

- 1 ゲートキーパーがインストールされているパソコンに"VocaLink"でログオンします。(インストールを行った名前でログオンしてください。)
- 2 コンソールソフトを使って、ゲートキーパーの動作の閉塞を行います。
オンライン-GK-保守 ゲートキーパー閉塞 を参照。(●P 61)
- 3 システム閉塞完了後、全システムデータの送信(バックアップ)を行います。
オンライン-GK-保守 全システムデータ送信 を参照。(●P 59)
- 4 ゲートキーパーのインストールの「4.再起動」を実行します。(●P 23)

コンソールソフトのインストール

ゲートキーパーの設定はCD-ROMに格納されているコンソールソフトをパソコンにインストールして行います。

パソコンのOSは、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、WindowsNT® 4.0、Windows® 2000 ServerまたはWindows® 2000 Professionalに対応しています。

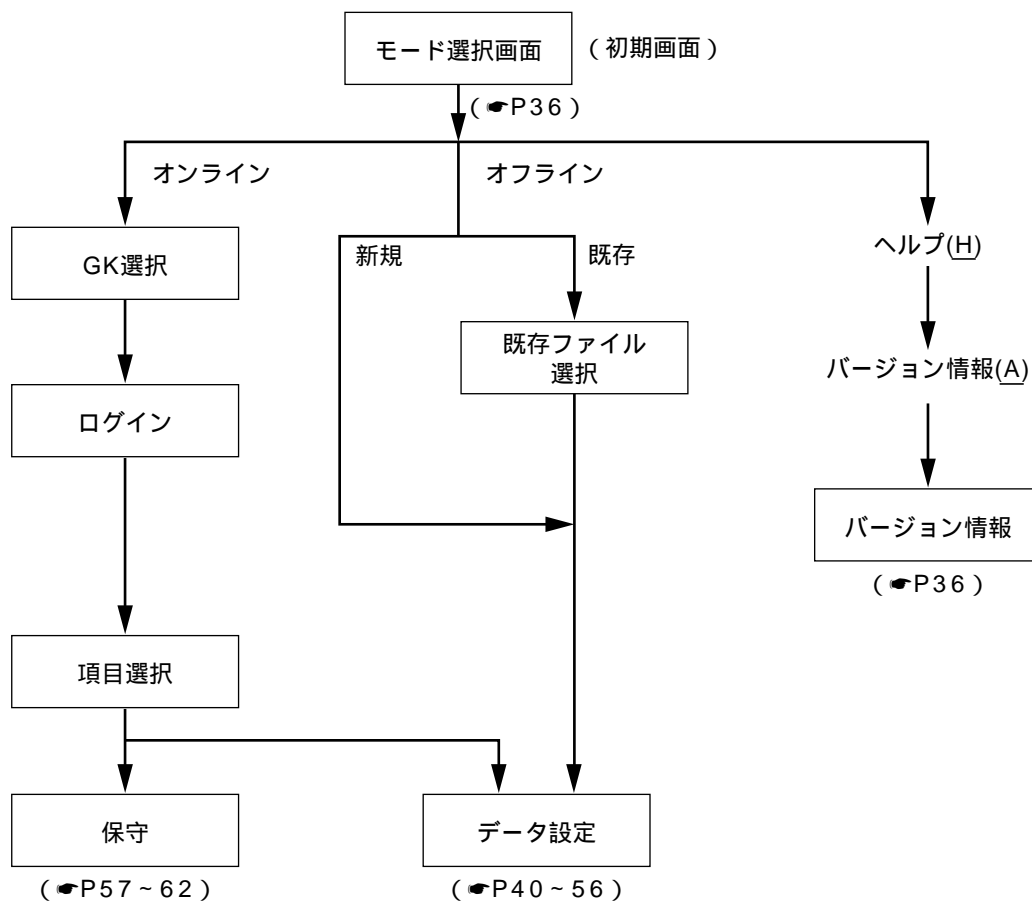
- 1 CD-ROMをパソコンのドライブに入れます。
- 2 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [VocaLink -GK] アイコン (CD-ROMドライブ) をダブルクリックします。
- 4 「¥VocaLink2¥GK-ConsoleSoft」のディレクトリに移動します。
- 5 [SETUP] アイコンをダブルクリックします。
セットアッププログラムが起動します。
- 6 画面の表示に従いインストールします。
- 7 インストールが終了しました。
インストールが終了したら、パソコンの再起動を行ってください。



お知らせ

コンソールソフトのインストールをする場合は、他の起動中のプログラムはすべて終了してください。
このページの内容は一例を示しています。

設定に関する全体の操作の流れを説明します。



1 お使いになる前に

2 インストールする

3 設定する

4 メンテナンス

5 ご参考に

コンソールソフトの操作は、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、WindowsNT® 4.0、Windows® 2000 ServerまたはWindows® 2000 Professionalと共にはほぼ同じです。

コンソールソフトの起動

ここではオンラインモード時の基本操作を説明します。

- 1 タスクバーの [スタート] ボタンをクリックして [プログラム] をポイントし、[VocaLink -GK] をクリックします。
- 2 画面が表示されますので、モード選択を行い、[OK] ボタンをクリックします。



- 「オンライン」を選択した場合は「GK選択」を表示します。(●P36)
- 「オフライン」を選択した場合は「ファイルの選択画面」を表示します。(●P39)



ワンポイント

オフラインを選択する場合、ゲートキーパーに接続せず設定用のファイルの作成が可能となります。

- 3 オンライン接続の場合は、GK選択画面が表示されますので、接続するゲートキーパーを選択して、[接続] ボタンをクリックします。



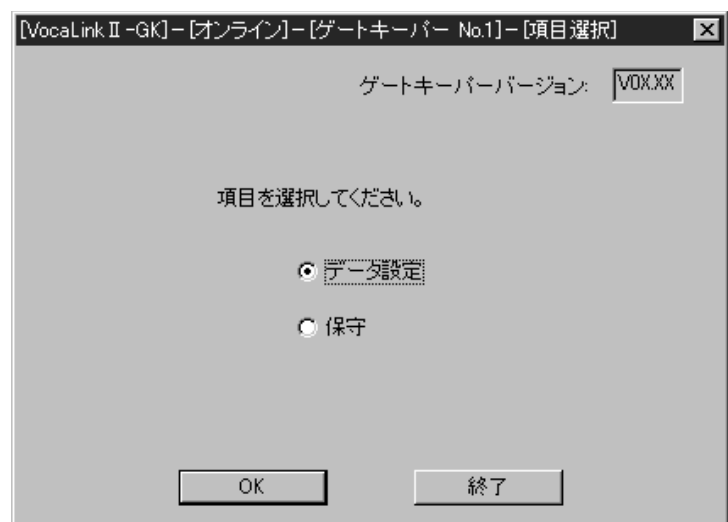
ワンポイント

接続先の登録は「オンライン-GK選択」を参照してください。(●P36)

- 4 ゲートキーパーを選択すると、ログイン画面が表示されます。パスワードを入力して [送信] ボタンをクリックしてください。



- 5 パスワードが認証されると、項目選択画面が表示されます。項目の選択を行い、[OK] ボタンをクリックします。



- 「データ設定」を選択した場合は、データ設定が行えます。(●P40～56)
- 「保守」を選択した場合は保守が行えます。(●P57～62)



ワンポイント

パスワードの初期値は、"SYSTEM"です。パスワードの変更に関しては、「保守 パスワード変更」を参照してください。(●P58)



ワンポイント

以降の動作に関しては、データ設定(●P40～56)、保守(●P57～62)を参照してください。

コンソールソフトの基本操作

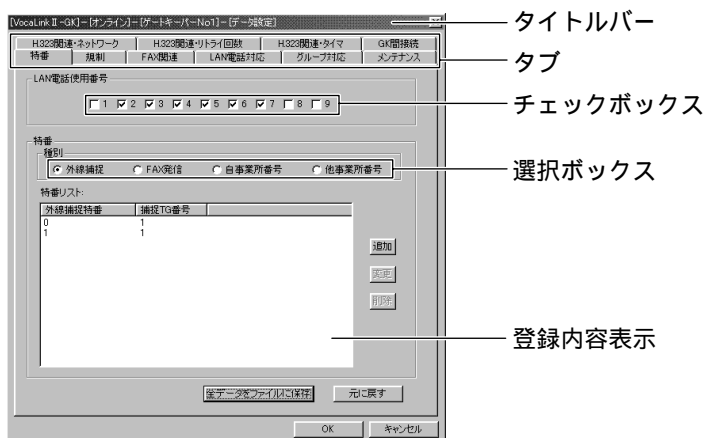
コンソールソフト画面のアイコンやボタンをマウスで操作して設定を行います。

コンソールソフト設定画面の各アイコン(タブ)をクリックして、設定画面を出すと、設定されている状態(値)を表示します。(オンラインモード時)

設定を変更したいときは、各設定画面にてマウスやキーボードにより変更を行い、最後に [OK] ボタンをクリックします。

基本的な入力方法

画面の例で入力方法とボタンの意味を説明します。



- タイトルバー** :表示されている画面についての表示。
- タブ** :各設定の項目選択として使用します。
- チェックボックス** :チェックボックスをクリックすることにより、チェックマーク の表示/非表示が切り替わります。チェック されている場合は、あり・する等の内容の選択を意味します。
- 選択ボックス** :いくつかの項目より、1つの内容を選択します。選択マーク のある項目について指定されていることを示します。
- 登録内容表示** :登録等の内容表示を行います。

ボタンの説明

- [OK] :画面に表示されている設定値を含め、設定データの設定を行います。
- [キャンセル] :一つ前の画面に戻ります。変更した設定値は無効となります。
- [全データをファイルに保存] :設定したデータ内容を、ファイルに保存します。
- [元に戻す] :変更した設定値を無効として、元の状態(入力前の状態)に戻します。
[OK] ボタンにて設定データの設定を行ってしまった場合は、元には戻せません。
- [追加] :登録内容表示に表示されている登録項目に、新たに設定データを追加します。(入力画面は次ページ参照)
- [変更] :登録内容表示に表示されている登録内容を変更します。(入力画面は次ページ参照)
- [削除] :登録内容表示に表示されている登録内容を削除します。



お知らせ

オフラインモードにて設定したデータを使用する場合は、必ずファイル保存を行ってください。バックアップしたファイルは、保守の画面より一括でデータ設定することが可能です。

オンラインモードにて設定を変更する場合には、必ず **OK** ボタンをクリックしてデータの設定を行ってください。設定中に本装置の電源を切らないでください。故障の原因となります。設定データに関しては、ファイル保存にてバックアップをとるようにしましょう。

追加・変更ウインドウ

テキストボックス

テキストボックス : キーボードにて入力します。

ボタンの説明

[登録]

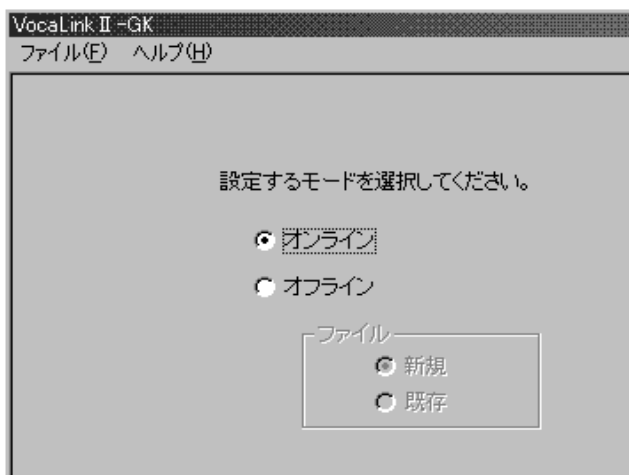
: 入力したデータを有効として、登録内容表示に反映させます。

[キャンセル]

: 一つ前の画面に戻ります。変更した設定値は無効となります。

モード選択画面

ゲートキーパーのコンソール設定の初期画面です。



- モードの初期設定はオンラインです。
- オフラインモード選択にてファイル選択がアクティブとなります。
- ファイル選択の初期設定は新規です。
- [OK] ボタンをクリックすることにより、選択したモードにて動作を開始します。
- [終了] ボタンをクリックすることにより、コンソールソフトを終了します。

ヘルプの表示にて、以下のようなゲートキーパーコンソールのバージョン情報を表示します。



- [OK] ボタンをクリックすると、モード選択画面に戻ります。

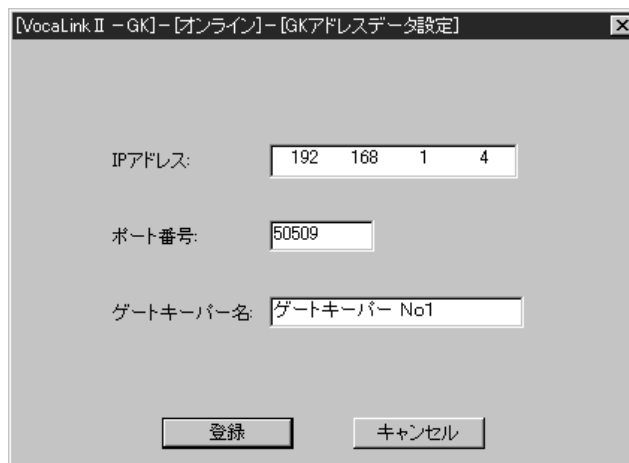
オンライン-GK選択

モード選択画面にて、オンラインを選択して [OK] ボタンをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



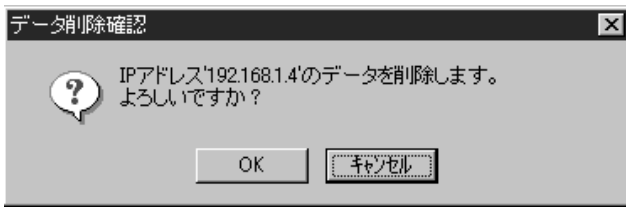
- 登録内容表示より接続するゲートキーパーを選択して、[接続] ボタンをクリックすることにより、ゲートキーパーに対して接続を行います。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、モード選択画面に戻ります。

追加・変更



- GK選択画面にて、[追加] ボタン、[変更] ボタンをクリックすることにより、GKアドレスデータ設定の画面が表示されます。
追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。
- データの入力後、[登録] ボタンをクリックすることによりGKアドレスデータの設定が完了し、GK選択画面に戻り、登録内容表示に設定データが反映されます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、GK選択画面に戻ります。
- データ設定の内容について以下に示します。
 - IPアドレス :ゲートキーパーがインストールされているサーバのIPアドレスを設定する。
 - ポート番号 :ゲートキーパーのコンソール用に使用するポート番号を設定する。GKのポート番号の設定は、インストール時に設定(変更)することができます。
 - ゲートキーパー名 :ゲートキーパーの名称を登録できます。(最大全角64文字)

削除



- [OK] ボタンをクリックすることにより、GKアドレスデータの削除が完了し、GK選択画面に戻ります。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、GK選択画面に戻ります。

オンライン-GK-ログイン

オンライン-GK選択画面にて、ゲートキーパーを選択して[接続]ボタンをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



- GK選択画面から [接続] ボタンをクリックして、ゲートキーパーの接続が完了することにより画面表示がされます。
- パスワード入力後 [送信] ボタンをクリックすることにより、ゲートキーパーに対してパスワード確認を行います。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、GK選択画面に戻ります。

1
お使いになる前に

2
インストールする

3
設定する

4
メンテナンス

5
ご参考に



ワンポイント

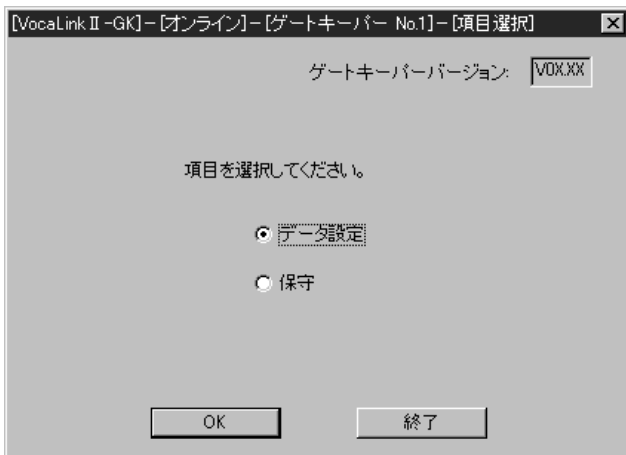
ゲートキーパーに設定されているパスワードの初期値は、"SYSTEM"となっています。
パスワードの変更は、オンライン-GK-保守 パスワード変更 (●P58) にて行うことができます。

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

オンライン-GK-項目選択

オンライン-GK-ログイン画面にて、パスワードを入力して[送信]ボタンをクリックして、パスワードが確認されることにより、以下の画面が表示されます。



- ログイン画面から [送信] ボタンをクリックして、パスワード確認が完了することにより画面表示がされます。
- 操作を行う項目を選択して [OK] ボタンをクリックすることにより、ゲートキーパーより設置データを読み込み、選択した画面に移行します。(データ設定 / 保守)
- [終了] ボタンをクリックすることにより、モード選択画面に戻ります。



ワンポイント

項目選択画面に表示している、「ゲートキーパーバージョン」は、ゲートキーパーより読み出したバージョン表示を行います。

オフライン 既存ファイル選択

モード選択画面にて、オフライン・ファイル 既存を選択して [OK] ボタンをクリックすることにより以下の画面が表示されます。



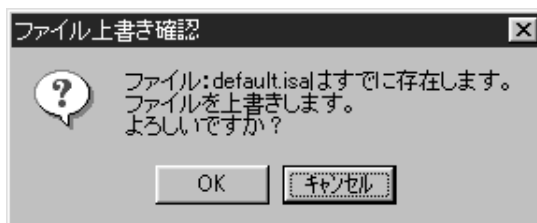
- ファイル名の指定を行い、[開く] ボタンをクリックすることにより、保存してある設定データの編集が可能となります。
- 設定データの編集は、データ設定の方法と同じです。オンライン-GK-データ設定を参照してください。(●P41)
- [キャンセル] ボタンをクリックした場合は、モード選択画面に戻ります。

オフライン 新規ファイル選択

- モード選択画面にて、オフライン・ファイル 新規を選択して [OK] ボタンをクリックすることにより、設定データの入力が可能となります。
- 設定データの入りは、データ設定の方法と同じです。オンライン-GK-データ設定を参照してください。(●P41)
- ファイルの保存を行う場合、以下のようなファイル保存画面が表示されます。



- ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックすることにより、ファイルの保存が行われます。保存が終了すると、データ設定の画面に戻ります。
- [キャンセル] ボタンをクリックした場合は、データ設定の画面に戻ります。
- 指定したファイル名がすでに存在していて、[保存] ボタンがクリックされた場合は、以下のメッセージを表示して、上書き確認を行います。



- [OK] ボタンをクリックすることにより、ファイルの保存(上書き)が行われます。保存が終了すると、データ設定の画面に戻ります。
- [キャンセル] ボタンをクリックした場合は、ファイル保存画面に戻ります。

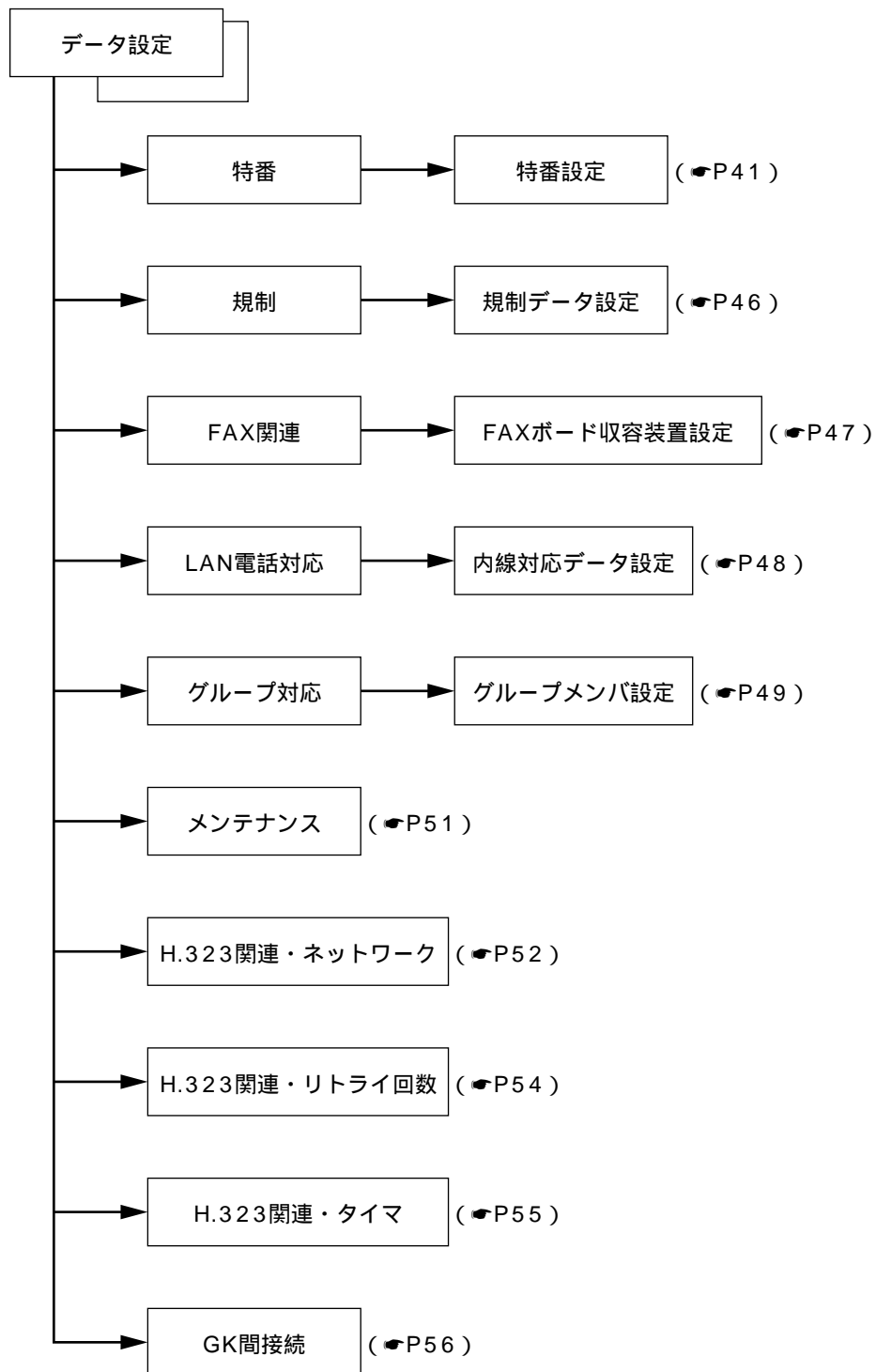


お知らせ

オフラインで行った設定・変更した内容はゲートキーパーには反映されません。ゲートキーパーへ反映するには、オンライン-GK-保守 全システムデータ送信にてデータ送信を行ってください。(●P59)

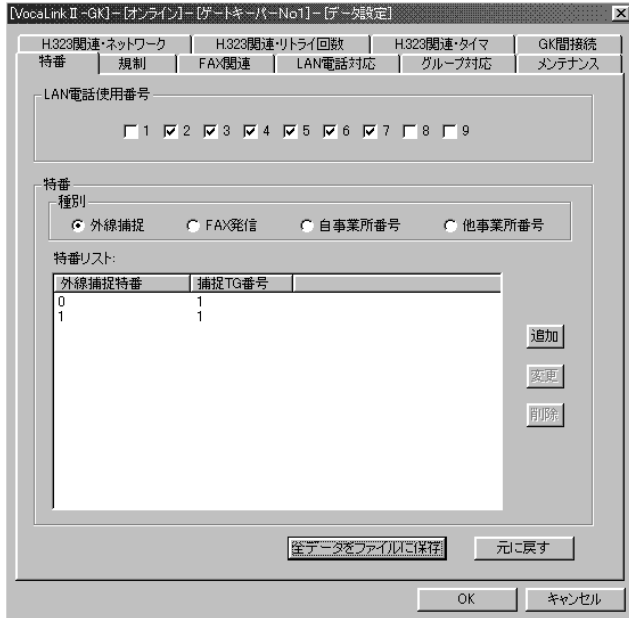
設定画面の流れ

コンソールソフトを使った設定に関する画面の流れを説明します。



オンライン-GK-データ設定 特番

オンライン-GK-データ設定の画面にて、特番のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



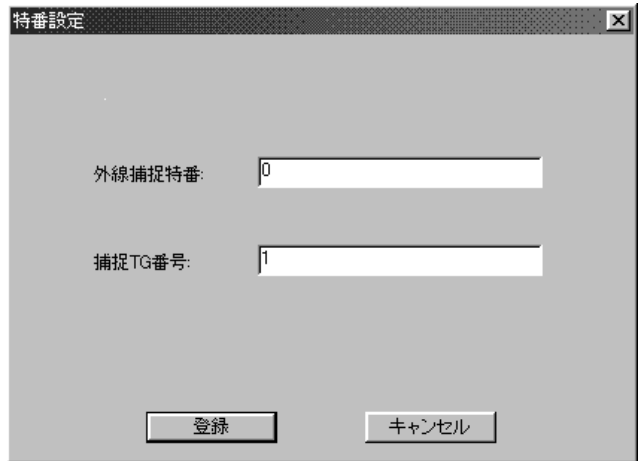
LAN電話使用番号について

- VocaLink のシステムの中で、LAN電話番号の1桁目に使用する番号指定を行います。

特番 外線捕捉(外線捕捉特番)について

特番の種類で外線捕捉を選択することにより、上記画面のように、登録表示画面に外線捕捉特番のデータが表示されます。

追加・変更



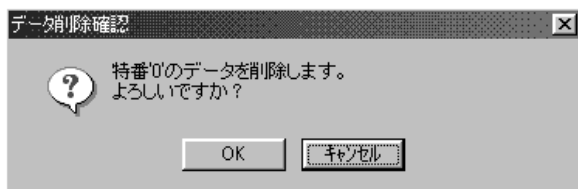
- データ設定-特番-外線捕捉が表示されている画面にて、[追加] ボタン、[変更] ボタンをクリックすることにより、外線捕捉特番のデータ設定の画面が表示されます。追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。
- データの設定後、[登録] ボタンをクリックすることにより外線捕捉特番の設定ができ、データ設定画面に戻り登録内容表示に設定データが反映されます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。
- データ設定の内容について
 外線捕捉特番 : ISDNゲートウェイまたはビジネスシステムアダプタを捕捉するための特番です。
 捕捉TG番号 : 外線捕捉特番に対して、接続を行うTGの番号を指定します。



お知らせ

LAN電話番号に"1"を設定した場合でも、「184」「186」の関連するLAN電話番号に関しては使用できません。

削除



- [OK] ボタンをクリックすることにより外線捕捉特番の削除を行い、データ設定画面に戻ります。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。



お知らせ

捕捉TG特番は以下の用途で使用されます。

- 外線捕捉特番に対するVocaLink -ISDNゲートウェイのグループ設定。
- OD捕捉特番(外線捕捉特番)に対するVocaLink -ビジネスシステムアダプタのグループ設定。

外線捕捉特番の設定は、桁数の長い方を優先して動作します。

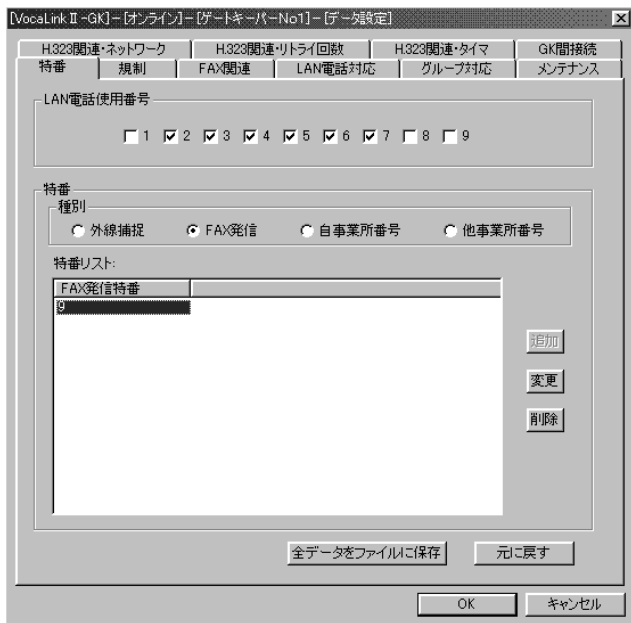


ワンポイント

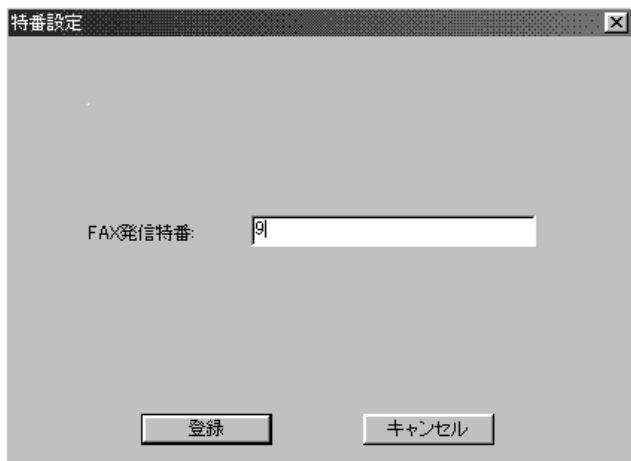
トランクグループ(TG)の設定については、オンライン-GK-データ設定 グループ対応をご覧ください。(P49)

特番 FAX発信について

特番の種別で、FAX発信を選択することにより、以下の画面のように、登録画面にFAX発信特番のデータが表示されます。



追加・変更



- データ設定-特番-FAX発信が表示されている画面にて、[追加] ボタン、[変更] ボタンをクリックすることにより、FAX発信特番のデータ設定の画面が表示されます。追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。
- データ設定後、[登録] ボタンをクリックすることにより FAX発信特番の設定ができ、データ設定画面に戻り登録内容表示に設定データが反映されます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。

- データ設定内容について
FAX発信特番:FAX発信を行う場合に使用する特番を設定します。

削除

- 外線捕捉特番の削除画面と同様の画面表示となります。



お知らせ

ISDNゲートウェイ・ビジネスシステムアダプタにて FAXを使用する場合は、装置本体に加えオプションのFAXボードが必要となります。



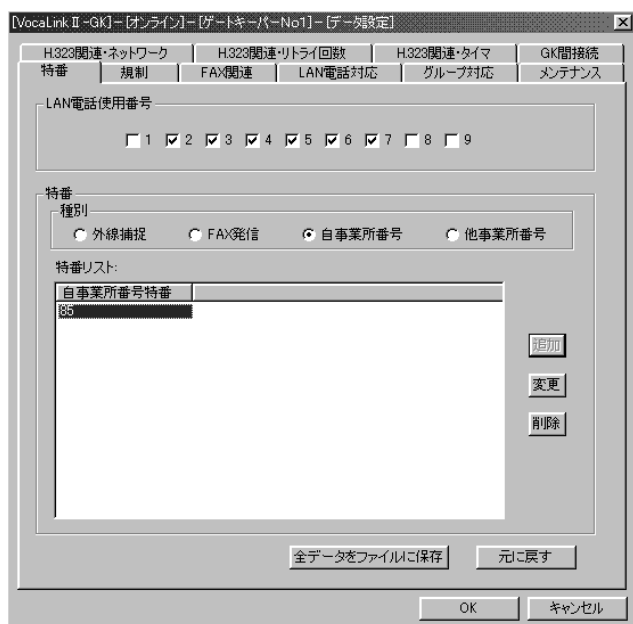
ワンポイント

FAX関連のデータとして、オンライン-GK-データ設定 FAX関連でファクス使用可能な装置の設定ができます。(P47)

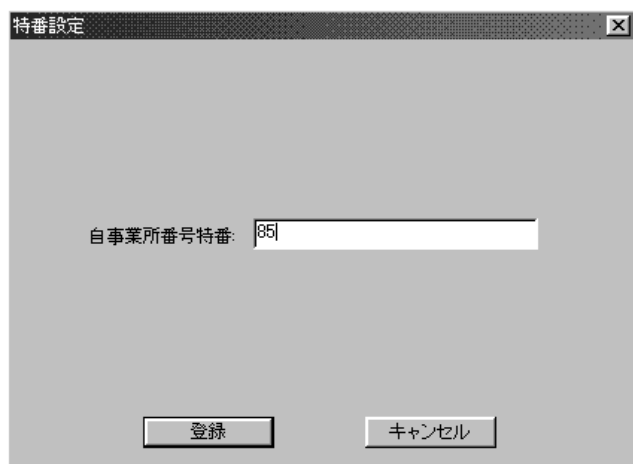
FAX発信特番は、最大4桁まで設定可能です。なお、FAX発信特番は、1つのゲートキーパーに対し1つしか設定することはできません。

特番 自事業所番号について

特番の種別で自事業所番号を選択することにより、下記画面のように、登録表示画面に自事業所番号のデータが表示されます。



追加・変更



- データ設定-特番-自事業所番号が表示されている画面にて、[追加] ボタン、[変更] ボタンをクリックすることにより、自事業所番号のデータ設定の画面が表示されます。追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。
- データの設定後、[登録] ボタンをクリックすることにより自事業所番号の設定ができ、データ設定画面に戻り登録内容表示に設定データが反映されます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。

- データ設定の内容について
自事業所番号特番 : 設定するゲートキーパー (VocaLink システム) の事業所番号を設定します。

削除

- 外線捕捉特番の削除画面と同等の画面表示となります。

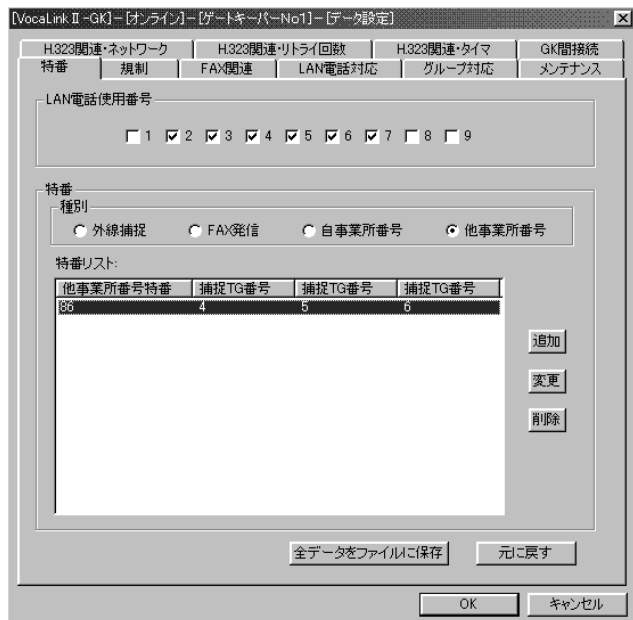


お知らせ

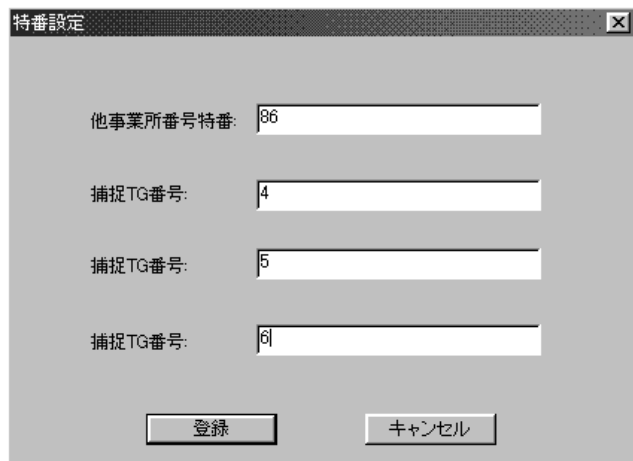
自事業所番号は、ビジネスシステムアダプタ使用時に設定します。また、自事業所設定は1つのゲートキーパーに1つの設定となります。

特番 他事業所番号について

特番の種別で他事業所番号を選択することにより、下記画面のように、登録表示画面に他事業所番号のデータが表示されます。



追加・変更



- データ設定-特番-他事業所番号が表示されている画面にて、[追加] ボタン、[変更] ボタンをクリックすることにより、他事業所番号のデータ設定の画面が表示されます。追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。
- データの設定後、[登録] ボタンをクリックすることにより他事業所番号の設定ができ、データ設定画面に戻り登録内容表示に設定データが反映されます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。

- データ設定の内容について

他事業所番号特番 :ビジネスシステムアダプタで使用する事業所番号(接続されたPBX等の事業所番号)を設定します。他事業所番号特番に対して、接続を行うTGの番号を指定します。

捕捉TG番号 :他事業所番号に対応した、接続を行うTGの番号を指定します。TGはビジネスシステムアダプタが設定してあるため、他事業所番号特番に対して、捕捉するビジネスシステムアダプタの指定が可能となります。

削除

- 外線捕捉特番の削除画面と同等の画面表示となります。



お知らせ

他事業所番号特番は、ビジネスシステムアダプタ使用時に設定します。

捕捉TG番号は、VocaLink -ビジネスシステムアダプタが設定されているTG番号を設定してください。

特番の設定は、桁数の長い方を優先として動作します。

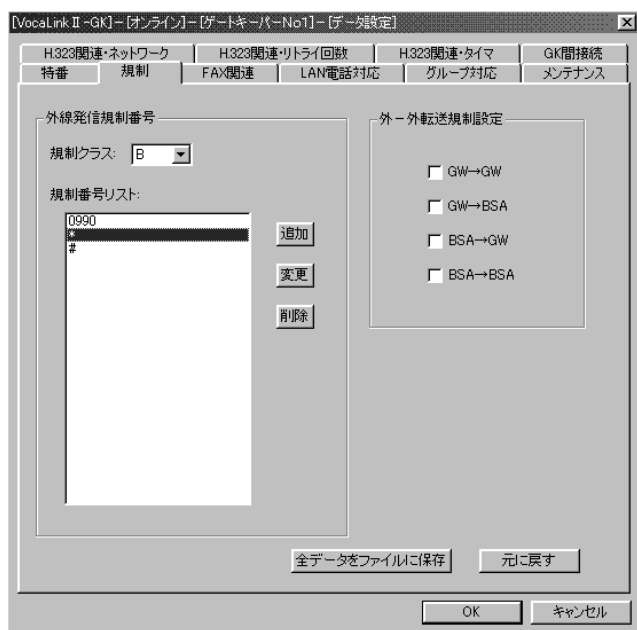


ワンポイント

トランクグループ(TG)の設定については、オンライン-GK-データ設定 グループ対応をご覧ください。(P49)

オンライン-GK-データ設定 規制

オンライン-GK-データ設定の画面にて、規制のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



外-外転送規制設定について

- ISDNゲートウェイ、ビジネスシステムアダプタを経由した外線-外線転送の規制についての設定を行います。チェック☑にて規制を行います。

外線発信規制番号について

- 外線発信規制を行うクラスのデータ設定を行えます。規制クラスには、A～Lまでのクラスがあり、Aが全外線発信規制無し(すべて発信可)、Lが全外線発信規制有り(内線のみ)として、B～Kに対して規制の設定可能としています。
- 規制クラス選択(B～K)を変更することにより、対応した規制番号リスト表示されます。

(規制番号はISDNゲートウェイに対してのみ適用されます。)



ワンポイント

外線発信規制番号の規制クラスは、1クラスあたり最大20個まで指定できます。また、規制番号に関しては最大32桁までの登録できます。

規制番号は、0～9、*、#が入力できます。

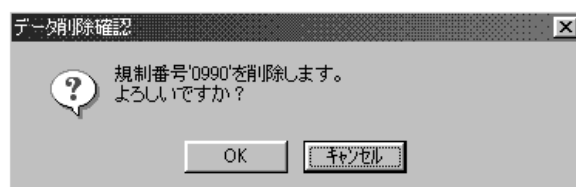
外線発信の規制クラスは、オンライン-GK-データ設定LAN電話対応の設定のとき使用します。(P48)

追加・変更



- データ設定-規制が表示されている画面にて、[追加]ボタン、[変更]ボタンをクリックすることにより、表示している規制クラスに対してデータ設定が可能となります。画面表示は、追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。
- データの設定後、[登録]ボタンをクリックすることにより規制番号の設定ができ、データ設定画面に戻り登録内容表示に設定データが反映されます。
- [キャンセル]ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。
- データ設定の内容について
規制番号 : 規制を行うダイヤル番号の指定を行います。

削除



- [OK]ボタンをクリックすることにより規制番号の削除を行い、データ設定画面に戻ります。
- [キャンセル]ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。



お知らせ

VocaLink のシステムは、ISDNゲートウェイにて「110」「119」「118」の発信規制をデフォルトで行っています。「118」の発信規制をデフォルトで行っていない装置もあります。)

オンライン-GK-データ設定 FAX関連

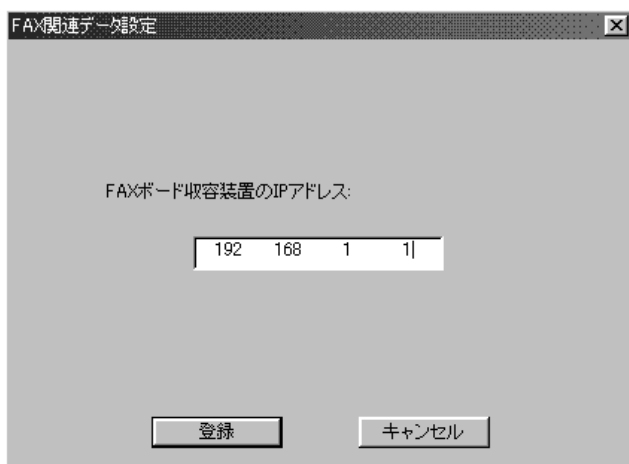
オンライン-GK-データ設定の画面にて、FAX関連のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



FAXボード収容装置

- FAXボードの実装されているISDNゲートウェイ・ビジネスシステムアダプタの設定を行います。設定は、装置のIPアドレスを設定します。

追加・変更



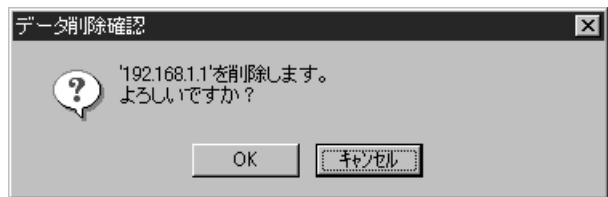
- データ設定-FAX関連が表示されている画面にて、[追加]ボタン、[変更]ボタンをクリックすることにより、FAXボード収容装置のIPアドレス設定が可能となります。画面表示は、追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。

- データ設定内容について

FAXボード収容装置のIPアドレス

:FAXボードが実装されているISDNゲートウェイ・ビジネスシステムアダプタのIPアドレスを設定します。

削除



- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。
- [OK] ボタンをクリックすることにより、FAXボード収容装置のIPアドレスを削除します。



お知らせ

ISDNゲートウェイ・ビジネスシステムアダプタにてFAXを使用する場合は、装置本体に加えオプションのFAXボードが必要となります。



ワンポイント

FAX関連のデータとして、オンライン-GK-データ設定特番-FAX発信でファクスの発信特番の設定ができます。(P43)

オンライン-GK-データ設定 LAN電話対応

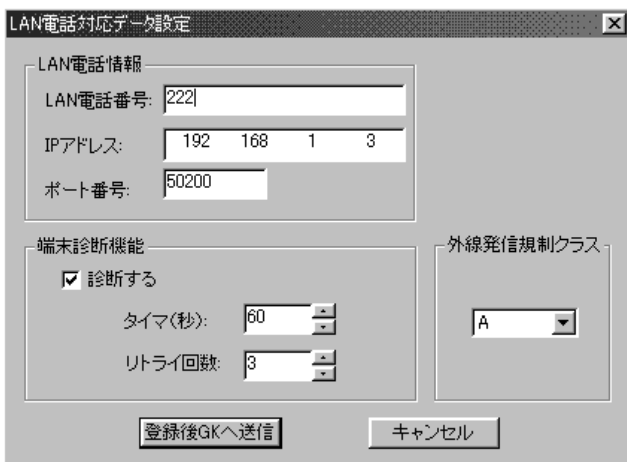
オンライン-GK-データ設定の画面にて、LAN電話対応のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



LAN電話対応データリスト

- 各LAN電話番号に対して規制等の設定を行います。LAN電話対応データリストは、ゲートキーパーに登録されたすべての端末の表示が出力されます。また、自動で登録された場合は、規制クラスA・端末診断無・タイム60秒・リトライ回数3回の設定となります。

追加・変更



- データ設定-LAN電話対応が表示されている画面にて、[追加] ボタン、[変更] ボタンをクリックすることにより、LAN電話対応データ設定が可能となります。画面表示は、追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。

- データ設定の内容について

LAN電話情報

- LAN電話番号 : LAN電話番号を設定します。
- IPアドレス : LAN電話番号に対応する、装置のIPアドレス。
- ポート番号 : LAN電話番号に対応する、ポート番号。

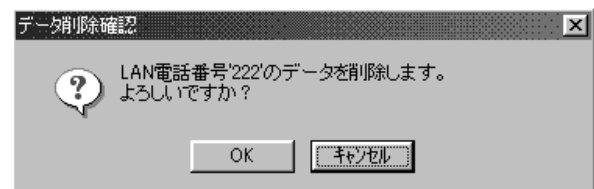
端末診断機能

- 診断する : チェック 有りで、端末接続状態チェックを行います
- タイム(秒) : 診断を行う場合のチェック間隔時間
- リトライ回数(回) : 診断を行う場合の異常判断するまでのリトライ回数

外線発信規制クラス

- 対応のLAN電話番号に対して行う、外線発信規制クラスの設定。

削除



- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。
- [OK] ボタンをクリックすることにより、LAN電話対応データの削除およびゲートキーパーへのデータ削除を行います。



お知らせ

LAN電話番号に対して、IPアドレス・ポート番号を設定することにより、LAN電話番号を割り付けることができます。(端末がLAN電話番号をゲートキーパーから取得となっているとき)
設定を変更した場合は、端末の再登録が必要となります。
ゲートキーパーでは最大7000端末分のLAN電話番号を管理できます。

オンライン-GK-データ設定 グループ対応

オンライン-GK-データ設定の画面にて、グループ対応のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



内線代表グループ

- グループ番号 : 1 ~ 16まで設定できます。
- 代表番号 : グループごとに代表番号の設定ができます。
- メンバリスト : 1グループに24台までのLAN電話番号の登録ができます。

トランクグループ (TG)

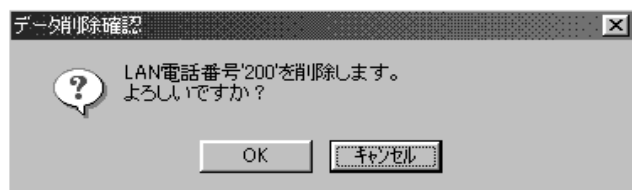
- TG番号を変更することにより、対応したトランク種別・メンバリストが表示されます。
- トランクグループは、ISDNゲートウェイ・ビジネスシステムアダプタのグループ分けの設定を行えます。
- TG番号は、1 ~ 255まであり、1グループあたり8台まで設定できます。
- グループ毎にトランク種別として、ISDN (GW)・OD (BSA) の登録を行います。

内線代表 追加・変更



- データ設定-グループ対応で内線代表グループの [追加] ボタン、[変更] ボタンをクリックすることにより、内線代表のメンバの登録が可能となります。画面表示は、追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。
- データの設定後、[登録] ボタンをクリックすることにより、指定の内線代表グループへの設定を行い、データ設定画面に戻り登録内容表示に設定データが反映されます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。
- データ設定の内容について
LAN電話番号 : 内線代表のグループ(代表番号)に属するLAN電話番号の登録。

内線代表 削除

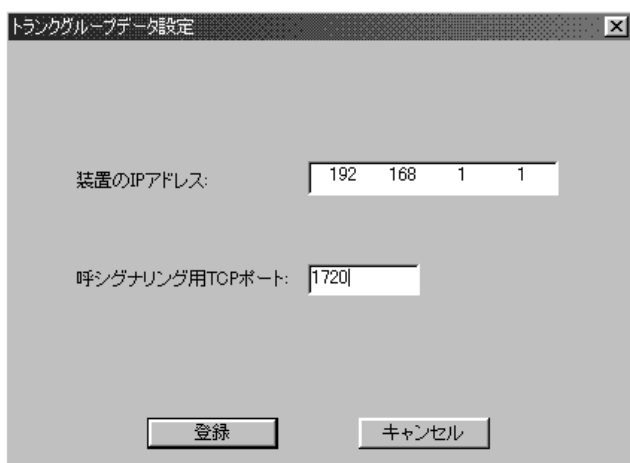


- [OK] ボタンをクリックすることにより内線代表のグループからLAN電話番号の削除を行い、データ設定画面に戻ります。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。

内線代表 上へ・下へ

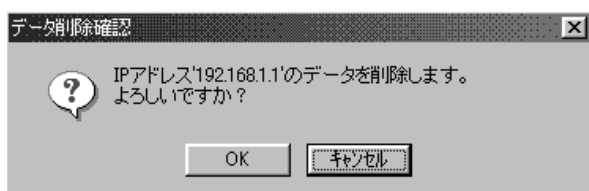
- メンバを選択し、[上へ] ボタンまたは [下へ] ボタンをクリックすることにより、メンバリストの順番を変えることができます。これにより内線呼び出す順番の変更することができます。

トランクグループ 追加・変更



- データ設定-グループ対応でトランクグループ (TG) の [追加] ボタン、[変更] ボタンをクリックすることにより、トランクグループのメンバの登録が可能となります。画面表示は、追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。
- データの設定後、[登録] ボタンをクリックすることにより、指定のトランクグループへの設定を行い、データ設定画面に戻り登録内容表示に設定データが反映されます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。
- データ設定の内容について
 - 装置のIPアドレス : 指定されたトランクグループに属する、ISDNゲートウェイ・ビジネスシステムアダプタ装置のIPアドレスの登録。
 - 呼シグナリング用TCPポート : 装置のIPアドレスで指定された、ISDNゲートウェイ・ビジネスシステムアダプタ装置の呼シグナリング用のTCPポートの登録。

トランクグループ 削除



- [OK] ボタンをクリックすることによりトランクグループから指定した装置のIPアドレスの削除を行い、データ設定画面に戻ります。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。

トランクグループ 上へ・下へ

- メンバを選択し、[上へ] ボタンまたは [下へ] ボタンをクリックすることにより、メンバリストの順番を変えることができます。これによりトランクグループ内で装置を呼び出す順番を変更することができます。



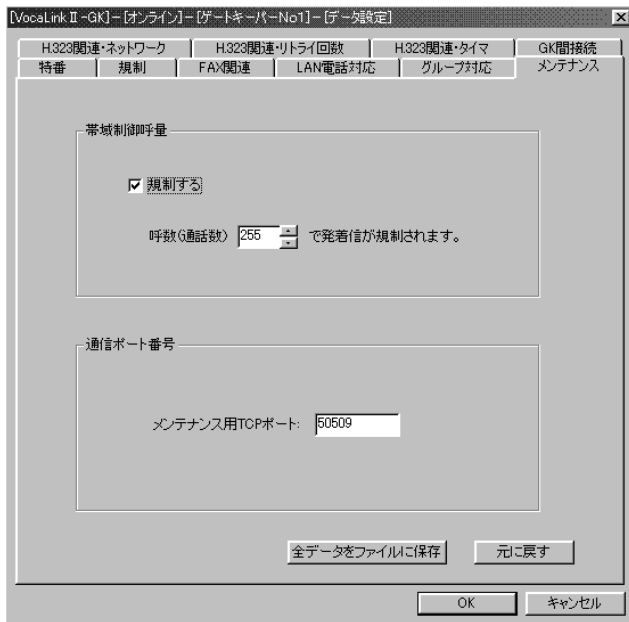
ワンポイント

ISDNゲートウェイ・ビジネスシステムアダプタの呼シグナリング用TCPポートのデフォルト値は"1720"となっています。

トランクグループは、オンライン-GK-データ設定 特番の外線捕捉 (●P41)・他事業所番号 (●P45) の設定にて使用しています。

オンライン-GK-データ設定 メンテナンス

オンライン-GK-データ設定の画面にて、メンテナンスのタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



帯域制御呼量について

- 規制するのチェックしている場合は、設定される呼数によって通話の規制を行います。
- 呼数(通話数)の設定は、1～2000までの範囲で設定が可能です。

通信ポート番号について

- メンテナンス用TCPポートは、ゲートキーパー設定用コンソールソフトからリモート設定するときの接続ポートとして使用するポート番号の設定です。



お知らせ

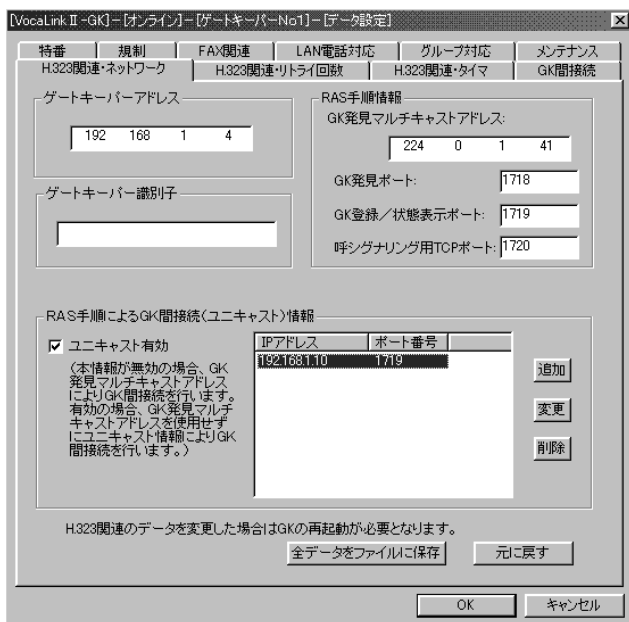
帯域制御呼量は、接続するネットワークの状態によって設定値を調整してください。

通信ポート番号を変更した場合、次回のコンソールソフト接続より有効となります。次回接続時には、GK選択でポート番号の変更を行って接続してください。

複数のゲートキーパーをご使用になる場合は、呼数などの考え方が変わりますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご確認ください。

オンライン-GK-データ設定 H.323関連・ネットワーク

オンライン-GK-データ設定の画面にて、H.323関連・ネットワークのタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



ゲートキーパーアドレス

- ゲートキーパーのIPアドレスを設定します。

ゲートキーパー識別子

- ゲートキーパーの名称の登録を行います(最大全角64文字)

RAS手順情報

GK発見マルチキャストアドレス

端末からゲートキーパー発見を行う場合に使用するマルチキャストアドレスの登録を行います。

初期値は、"224.0.1.41"となっています。

GK発見ポート

端末からGK発見を行う場合に使用するマルチキャストアドレスに対応した、ポート番号の登録を行います。

初期値は、"1718"となっています。

GK登録/状態表示ポート

ゲートキーパーからの通信(登録・状態表示等)に使用するポート番号の登録を行います。

初期値は、"1719"となっています。

呼シグナリング用TCPポート

呼のシグナリング用に使用するTCPのポート番号の登録を行います。初期値は、"1720"となっています。

RAS手順によるGK間接続(ユニキャスト)情報

ユニキャスト有効

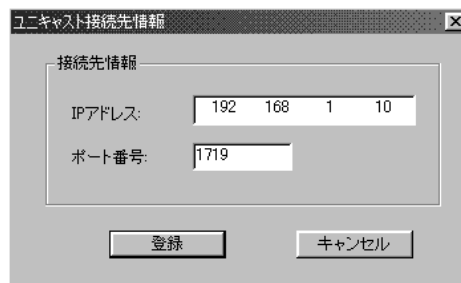
- 有効(ユニキャスト有効チェック有り)の場合、RAS手順によりGK間接続を行うとき、マルチキャストアドレスにてGK発見を行わず、登録されているゲートキーパー(IPアドレス)すべてに対してGK間接続を行います。

- 無効(ユニキャスト有効チェック無し)の場合、RAS手順通信(RAS手順)を行うとき、マルチキャストアドレスにてGK発見を行い、解決したゲートキーパーとGK間接続を行います。

アドレスの登録

- ユニキャスト有効チェック有り(有効)の場合に、使用するゲートキーパーアドレスが表示されます。
- 接続先ゲートキーパーアドレスは、16ヶ所まで登録が可能です。

IPアドレス追加・変更



- ユニキャスト有効チェック有り(有効)の場合、[追加]ボタン、[変更]ボタンをクリックすることにより、接続先ゲートキーパーのIPアドレスの登録が可能となります。画面表示は、追加の場合は初期値、変更の場合は選択したデータを表示します。

- データ設定後、[登録]ボタンをクリックすることにより、ゲートキーパーのIPアドレス設定を行い、データ設定画面に戻り登録内容表示に設定データが反映されます。

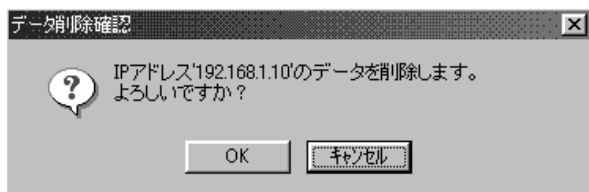
- [キャンセル]ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。

データ設定の内容について

IPアドレス :GK間接続で接続するゲートキーパーのIPアドレスの登録。

ポート番号 :GK間接続で接続するゲートキーパーのポート番号の登録。

IPアドレス 削除



- [OK] ボタンをクリックすることにより接続先ゲートキーパーのIPアドレスの削除を行い、データ設定画面に戻ります。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、データ設定画面に戻ります。



ワンポイント

RAS手順によるGK間接続（ユニキャスト）情報の接続先情報の登録内容は、

- IPアドレス: 接続するゲートキーパーのIPアドレス
- ポート番号: 接続するゲートキーパーのGK登録 / 状態表示ポート

以上を入力してください。



お知らせ

H.323関連・ネットワークの設定変更を行った場合、ゲートキーパーの再起動が必要となります。ゲートキーパーアドレスを変更する場合は、変更後ゲートキーパーをインストールしているパソコンのIPアドレスを同じ値に変更して、ゲートキーパーを再起動してください。

ゲートキーパーアドレスを変更した場合は、次回コンソールソフト接続時には、GK選択でIPアドレスの変更を行って接続してください。

RAS手順情報の内容は、初期値より変更しないようにしてください。変更する場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご確認ください。

H.225.0 AnnexGで接続するに設定されている場合、RAS手順でのGK間接続の関連設定は無効となります。(H.225.0 AnnexGデータ設定に関しては、GK間接続タブの設定をご覧ください。(P56))

オンライン-GK-データ設定 H.323関連・リトライ回数

オンライン-GK-データ設定の画面にて、H.323関連・リトライ回数のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



リトライ回数情報

- 登録内容表示を選択することにより、対象の項目に対する回数を、リトライ回数のテキストボックスに表示します。
- リトライ回数のテキストボックスに、データを入力して、[設定] ボタンをクリックすることにより、リトライ回数の設定を行い登録内容表示に反映します。

UCF待ちタイムアウト

H.225.0 RASでの、非登録要求(URQ)のレスポンス待ちタイムアウト時に、再度非登録要求を送信する回数を設定します。

DCF待ちタイムアウト

H.225.0 RASでの、離脱要求(DRQ)のレスポンス待ちタイムアウト時に、再度離脱要求を送信する回数を設定します。

LCF待ちタイムアウト

H.225.0 RASでの、位置情報確認(LRQ)のレスポンス待ちタイムアウト時に、再度位置情報確認を送信する回数を設定します。

IRR待ちタイムアウト

H.225.0 RASでの、情報要求(IRQ)のレスポンス待ちタイムアウト時に、再度情報要求を送信する回数を設定します。

保留削除要求応答待ちタイムアウト

H.450.4 の保留の動作にて、保留削除(解除)の要求のレスポンス待ちタイムアウト時に、再度保留削除要求を送信する回数を設定します。

お知らせ

リトライ回数情報の内容は、初期値より変更しないでください。変更する場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご確認ください。H.323関連・リトライ回数の設定変更を行った場合、ゲートキーパーの再起動が必要となります。

オンライン-GK-データ設定 H.323関連・タイマ

オンライン-GK-データ設定の画面にて、H.323関連・タイマのタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



タイマ時間情報

- 登録内容表示を選択することにより、対象の項目に対する秒数を、タイム値のテキストボックス表示します。
- タイム値のテキストボックスに、データを入力して、[設定] ボタンをクリックすることにより、タイム値の設定を行い登録内容表示に反映します。

CONNECT待ち

H.225.0 Q931での、SETUP送信後の接続に関するレスポンス待ちタイマの値を設定します。

CALLPROC待ち

H.225.0 Q931での、SETUP送信後のSETUP受付に関するレスポンス待ちタイマの値を設定します。

ALERT待ち

H.225.0 Q931での、SETUP送信後の呼び出しに関するレスポンス待ちタイマの値を設定します。

DCF待ち

H.225.0 RASでの、離脱要求(DRQ)のレスポンス待ちタイマの値を設定します。

UCF待ち

H.225.0 RASでの、非登録要求(URQ)のレスポンス待ちタイマの値を設定します。

LCF待ち

H.225.0 RASでの、位置情報確認(LRQ)のレスポンス待ちタイマの値を設定します。

IRR待ち

H.225.0 RASでの、情報要求(IRQ)のレスポンス待ちタイマの値を設定します。

転送確認応答待ち(CTIdentify)

H.450.2 転送確認に対するレスポンス待ちタイマの値を設定します。

転送発信応答待ち(CTSetup)

H.450.2 転送発信に対するレスポンス待ちタイマの値を設定します。

転送開始応答待ち(CTInitiate)

H.450.2 転送開始に対するレスポンス待ちタイマの値を設定します。

保留転送要求応答待ち(CallRerouting)

H.450.3 保留転送要求に対するレスポンス待ちタイマの値を設定します。

保留要求応答待ち

H.450.4 保留要求に対するレスポンス待ちタイマの値を設定します。

保留削除要求応答待ち

H.450.4 保留削除(解除)要求に対するレスポンス待ちタイマの値を設定します。

ACCEPTしてからSETUPを受信するまでの待ち

H.225.0 Q931用のパスが接続(ACCEPT)してから、SETUPが受信するまでのタイマの値を設定します。RELCOMP送信後、相手からのソケット切断待ちソケットの切断要求の送信後、ソケットが切断するまでのタイマの値を設定します。



お知らせ

タイマ時間情報の内容は、初期値より変更しないでください。変更する場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご確認ください。H.323関連・タイマの設定変更を行った場合、ゲートキーパーの再起動が必要となります。

オンライン-GK-データ設定 GK間接続

オンライン-GK-データ設定の画面にて、GK間接続のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。

H.225.0 AnnexG接続するについて

- チェック が付いている場合は、H.225.0 AnnexGを使用してクリアリングハウスを介してGK間接続を行います。

H.225.0 AnnexG情報について

- H.225.0 AnnexG接続するにチェック が付いている場合に有効となります。
- 接続先情報は、接続するクリアリングハウスの接続情報を表示します。
- データ設定の内容について

IPアドレス :接続するクリアリングハウスのIPアドレスを登録。

ポート番号 :接続するクリアリングハウスのAnnexG通信のポート番号を登録。(初期値は、"2099"となっています。)

接続先識別子:接続するクリアリングハウスの名称を登録。(半角128文字まで)

パスワード(順方向)

:本ゲートキーパーからクリアリングハウスへのAnnexG通信を行うときの、通信パスワードの登録。(半角128文字まで)

パスワード(逆方向)

:クリアリングハウスから本ゲートキーパーへのAnnexG通信を行うときの、通信パスワードの登録。(半角128文字まで)

サービスリレーションシップについて

- 確立要求を行う。にチェック が付いている場合は、本ゲートキーパーからクリアリングハウスへAnnexG通信を行うパスの接続を行います。
- 確立要求を許可する。にチェック が付いている場合は、クリアリングハウスから本ゲートキーパーへAnnexG通信を行うパスの接続を許可します。

自H.225.0 AnnexG情報について

- 自H.225.0 AnnexG情報は、本ゲートキーパーのAnnexG関連の情報について表示します。
- データ設定の内容について

受信ポート :本ゲートキーパーのAnnexG通信用のポート番号を登録。(初期値は、"2099"となっています。)

識別子 :本ゲートキーパーのAnnexG通信用の名称を登録。(半角128文字まで)



お知らせ

GK間接続の設定に関しては、通常設定は必要ありません。

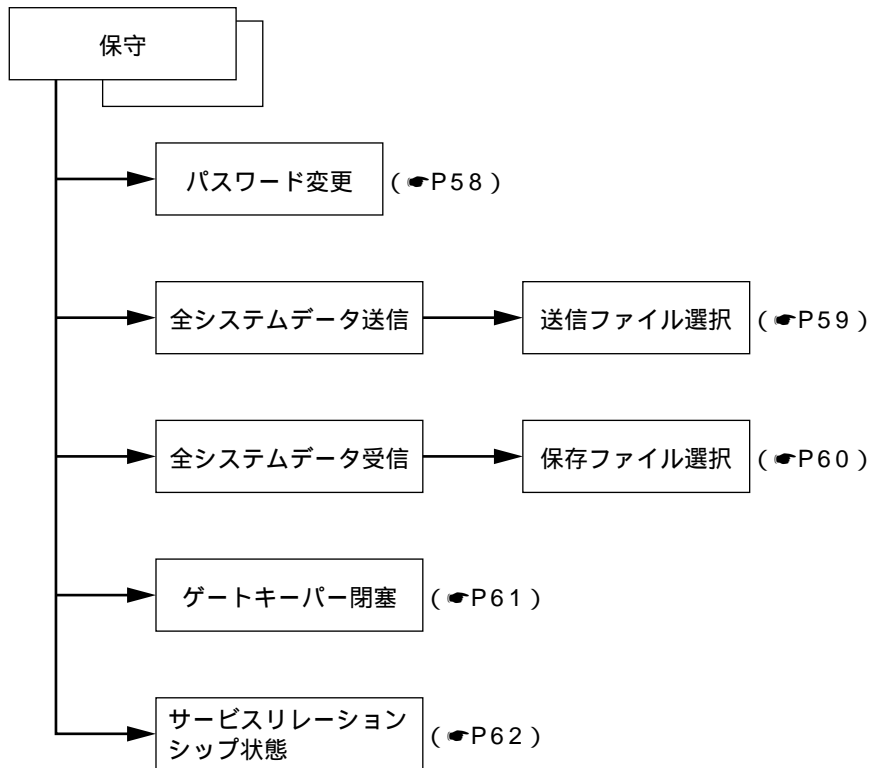
H.225.0 AnnexGで接続するに設定されている場合、RAS手順でのGK間接続の関連設定は無効となります。(H.323関連・ネットワークの設定をご覧ください。(P52))

H.225.0 AnnexG情報の接続先識別子と自H.225.0 AnnexG情報の識別子は、H.225.0 AnnexGを使用してクリアリングを介してGK間接続する場合、必須となります。

クリアリングハウスおよびGK間接続の設定についての詳しい内容は、当社のサービス取扱所またはお問い合わせになった販売店へご確認ください。

メンテナンス画面の流れ

コンソールソフトを使ったメンテナンスに関する画面の流れを説明します。



1
お使いになる前に

2
インストールする

3
設定する

4
メンテナンス

5
ご参考に

オンライン-GK-保守 パスワード変更

オンライン-GK-保守の画面にて、パスワード変更のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。

The screenshot shows a window titled "[VocalLink II - GK] - [オンライン] - [ゲートキーパーNo1] - [保守]". It has a tabbed interface with "ゲートキーパー閉塞" (Gatekeeper Closure) selected. Underneath, there are three sub-tabs: "パスワード変更" (Password Change), "全システムデータ送信" (Send All System Data), and "全システムデータ受信" (Receive All System Data). The main area contains the following text: "ゲートキーパーデータ設定/パスワードの変更を行います。新しいパスワードを入力してください。" (Perform gatekeeper data setting/password change. Please enter a new password.) Below this are two input fields: "新しいパスワード:" (New Password) and "パスワードの確認入力:" (Confirm Password), both containing asterisks. At the bottom right are two buttons: "変更" (Change) and "キャンセル" (Cancel).

- ゲートキーパーのログイン用のパスワード変更画面で、新しいパスワードとパスワードの確認入力に変更するパスワードを入力します。(必ず同じ値を入力する。)
[変更] ボタンをクリックすることにより、パスワードの変更が行われます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、項目選択画面に戻ります。



お知らせ

パスワードは、最大半角32桁まで設定可能です。
パスワードを変更した場合、次回のログイン画面での入力から、新パスワードが有効となります。

1

お使いになる前に

2

インストールする

3

設定する

4

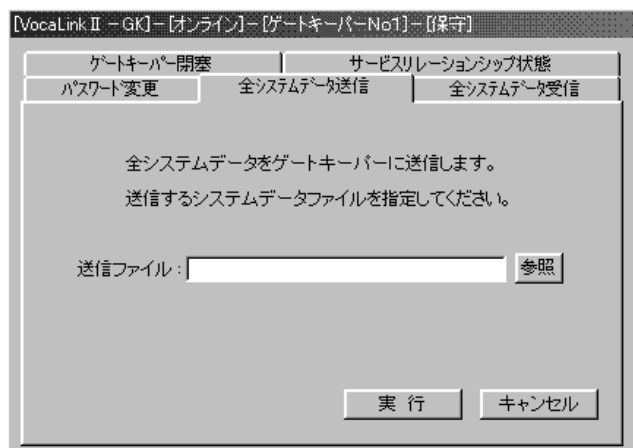
メンテナンス

5

ご参考に

オンライン-GK-保守 全システムデータ送信

オンライン-GK-保守の画面にて、全システムデータ送信のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



- 保存している設定データを一括してゲートキーパーに送信する画面で、送信ファイルのテキストボックスにファイル名を入力して [実行] ボタンをクリックすることにより、ゲートキーパーに設定データを送信します。また、[参照] ボタンをクリックすることにより、送信ファイルをディスク上から選択することもできます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、項目選択画面に戻ります。



お知らせ

全システムデータの送信を行う場合は、あらかじめゲートキーパー閉塞を行っておく必要があります。(オンライン-GK-保守 ゲートキーパー閉塞を参照(●P61))

システムデータ送信時には、ファイル名を間違わないようにしてください。

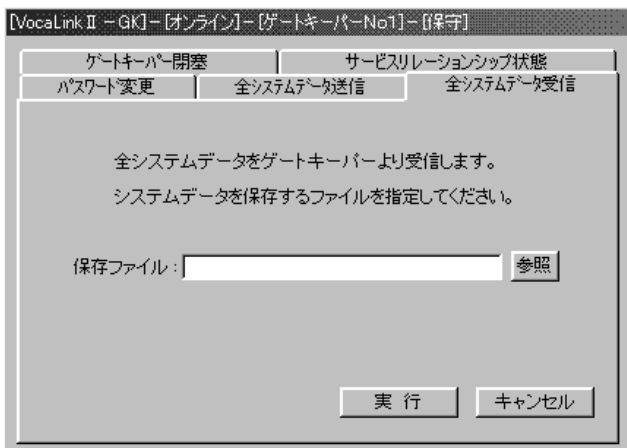


ワンポイント

ファイル名のみを入力した場合、そのファイルが、コンソールソフトがインストールされているディレクトリに存在している必要があります。

オンライン-GK-保守 全システムデータ受信

オンライン-GK-保守の画面にて、全システムデータ受信のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



- ゲートキーパーにて動作しているデータを一括してファイルに保存する画面で、保存ファイルのテキストボックスにファイル名を入力して、[実行] ボタンをクリックすることにより設定データの読み込みを行います。また、[参照] ボタンをクリックすることにより、ファイルを保存するディレクトリをディスク上から選択することもできます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、項目選択画面に戻ります。



お知らせ

全システムデータの受信を行う場合は、あらかじめゲートキーパー閉塞を行っておく必要があります。（オンライン-GK-保守 ゲートキーパー閉塞を参照（P61））

全システムデータの受信は、ゲートキーパーの設定データのバックアップとして使用できます。バックアップしたデータは、オフライン 既存ファイルの選択からデータの確認を行うことができます。（P39）

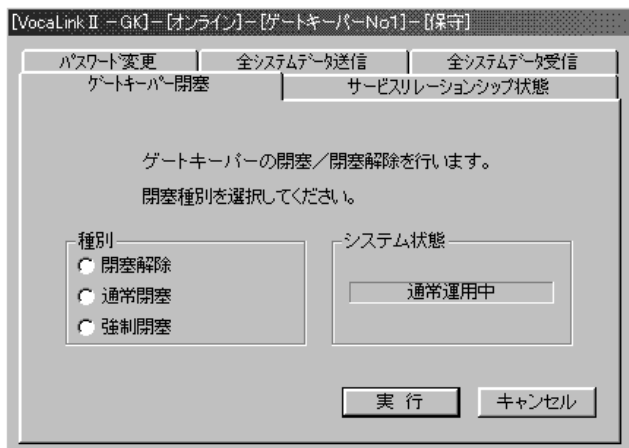


ワンポイント

ファイル名のみを入力した場合、そのファイルはコンソールソフトがインストールされているディレクトリに保存されます。

オンライン-GK-保守 ゲートキーパー閉塞

オンライン-GK-保守の画面にて、ゲートキーパー閉塞のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



- ゲートキーパーの動作の閉塞 / 閉塞解除を行う画面で、種別にて閉塞 / 閉塞解除の種類を選択し、[実行] ボタンをクリックすることにより、ゲートキーパーの動作の閉塞 / 閉塞解除を行います。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、項目選択画面に戻ります。
- 種別の選択の内容について
 - 閉塞解除 :ゲートキーパーが閉塞状態となっている場合、閉塞を解除するときに使用します。
 - 通常閉塞 :ゲートキーパーの閉塞を行う場合に使用します。但し、通話中の呼に関しては、終話するまで閉塞を行いません。
 - 強制閉塞 :ゲートキーパーの閉塞を行う場合に使用します。通話中の呼に対しても強制的に閉塞を行います。
- システム状態の表示内容について
 - 通常運用中 :通常の運用状態の表示です。
 - システム予閉塞中 :閉塞の指示を行い、閉塞完了の待ち状態の表示です。
 - システム閉塞中 :閉塞状態(ゲートキーパー 動作停止)の表示です。

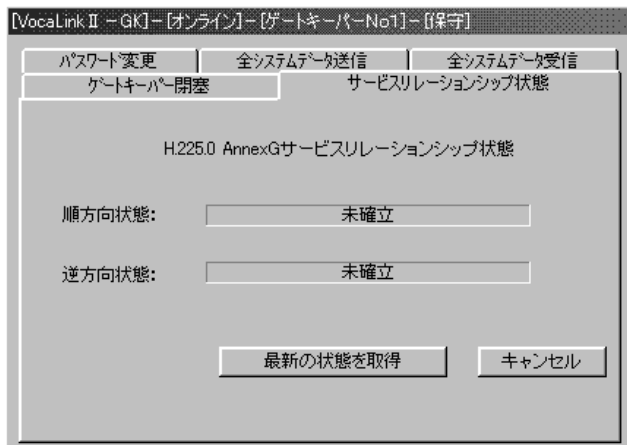


お知らせ

閉塞状態は、ゲートキーパーの機能は停止状態となっているため、閉塞する場合には、十分注意してください。

オンライン-GK-保守 サービスリレーションシップ状態

オンライン-GK-保守の画面にて、サービスリレーションシップ状態のタブをクリックすることにより、以下の画面が表示されます。



- H.225.0 AnnexGサービスリレーションシップ状態の表示を行います。
- [最新の状態を取得] ボタンをクリックすることにより、H.225.0 AnnexGサービスリレーションシップ状態の表示を最新状態に更新して表示を行います。
- [キャンセル] ボタンをクリックすることにより、項目選択画面に戻ります。
- H.225.0 AnnexGサービスリレーションシップ状態の表示内容について
順方向状態:本ゲートキーパーからクリアリングハウスへのH.225.0 AnnexGサービスリレーションシップ状態の内容を表示します。
逆方向状態:クリアリングハウスから本ゲートキーパーへのH.225.0 AnnexGサービスリレーションシップ状態の内容を表示します。

状態表示内容について

確立中:H.225.0 AnnexGのサービスリレーションシップが正常に接続されていることを示します。

未確立:H.225.0 AnnexGのサービスリレーションシップが接続されていないことを示します。

サービス未対象

:H.225.0 AnnexGのサービスリレーションシップが定義されていない(サービスしない)ことを示します。



お知らせ

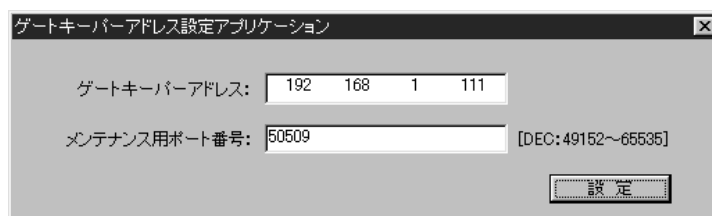
H.225.0 AnnexG関連の接続に関する設定は、データ設定のGK間接続タブの設定をご覧ください。(P56)

H.225.0 AnnexG関連の詳しい内容については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご確認ください。

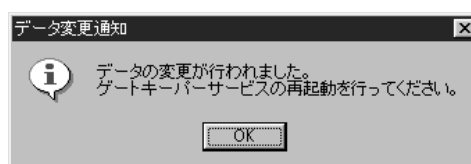
ゲートキーパーサービスをインストールしているパソコンのIPアドレスとゲートキーパーアドレスを違う値に設定してしまった場合に、ゲートキーパーアドレスを変更する方法について説明します。

1 ゲートキーパーサービスがインストールされているパソコンにて、タスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューから[プログラム]-[VL GK アドレス変更]を順にクリックします。

2 画面が表示されますので、現在設定してあるゲートキーパーアドレスを確認して、ゲートキーパーサービスをインストールしているパソコンのIPアドレスと違っていている場合は、同じ値に変更します。



3 [設定] ボタンをクリックすると、データの変更を行った場合は、以下のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



4 データの変更を行った場合は、ゲートキーパーサービスの再起動を行います。

(ゲートキーパーのインストールの「4.再起動」参照 (●P23))



ワンポイント

データの変更を行った場合、ゲートキーパーサービスの再起動後、コンソールソフトにて、接続の確認を行ってください。(接続時のIPアドレス/ポート番号は変更した値にて行ってください。)

ゲートキーパーアドレスについては、オンライン-GK-データ設定 H.323関連・ネットワークを参照してください。(●P52)

1
お使いになる前に

2
インストールする

3
設定する

4
メンテナンス

5
ご参考に

故障かな?と思ったら

お問い合わせされる前に、もう一度次の点を確認してください。

症 状	原 因	対処方法
発信できない または着信しない	VocaLink -ゲートキーパーは起動していますか。 特番の設定 / 発信規制の設定など正確に入力されていますか。 VocaLink -ISDNゲートウェイや、VocaLink -ビジネスシステムアダプタ、VocaLink -テレホンアダプタにVocaLink -ゲートキーパーのIPアドレス / ポート番号等はきちんと登録されていますか。	VocaLink -ゲートキーパーを起動させてください。 VocaLink -ゲートキーパーの設定をもう一度確認してください。 VocaLink -ゲートウェイや、VocaLink -ビジネスシステムアダプタ、VocaLink -テレホンアダプタの設定をもう一度確認してください。
発信の際に、呼出音が聞こえるまでに時間がかかる	ネットワークが混んでいませんか。	ネットワークの状態や設計を見直してください。
通話がときどき途切れる	ネットワークが混んでいませんか。	ネットワークの状態や設計を見直してください。
VocaLink -テレホンアダプタに登録した不在転送ができない	対象の端末に内線代表機能の登録が登録されていませんか。 転送先が、発信規制されていませんか。	内線代表の登録を確認して、登録の修正を行ってください。 転送先が規制の対象となっていないか登録を確認してください。
コンソールソフトとVocaLink -ゲートキーパーが接続できない	接続時のIPアドレス・ポート番号は間違っていないですか。 パスワードは間違っていないですか。 ゲートキーパーサービスをインストールしているパソコンのIPアドレスとゲートキーパーアドレスは同じ値になっていますか。	IPアドレス・ポート番号を確認して接続し直してください。 パスワードを確認して、もう一度ログインしてください。 ゲートキーパーサービスをインストールしているパソコンのIPアドレスとゲートキーパーアドレスは同じ値に設定してください。(メンテナンス その他参照 (●P63))
ゲートキーパーサービスのインストール時、途中でエラーになる	WindowsNT® Server4.0 SP6以上 + Microsoft Data Access Components2.0 Service Pack1以上がインストールされていますか。	WindowsNT® Server4.0 SP6以上 + Microsoft Data Access Components2.0 Service Pack1以上がインストールされているかをもう一度確認してください。

保守サービスについて

実費保守サービス

修理に要した費用をいただきます。
 (修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。)
 (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。)

故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後7年間保有しております。

STOP お願い

外線へ電話をおかけになる際に、市外局番+市内局番+加入者番号(03-xxxx-xxxxなど)以外の電話番号および110番などの“1xx”で始まる3桁の局番無しの電話番号へ発信する場合、VocaLink-ISDNゲートウェイの設定によっては、相手先にかからない場合があります。これらの電話番号への通話は、VocaLink システム以外の通常の電話を必ずご利用ください。これらの電話番号の詳細については、VocaLink-ISDNゲートウェイ取扱説明書をご覧ください。



ワンポイント

“1xx”で始まる3桁の局番無しの電話番号例
 110:警察, 119:火事・救助・救急,
 118:海の事故・事件(海上保安庁)
 113:電話の故障, 114:お話し中調べ,
 115:電報, 104:電話番号案内(有料)
 117:時報(有料), 106:コレクトコール・クレジット通話,
 100:100番通話,
 116:電話の設定・移転・各種サービスのお問い合わせ等,
 177:天気予報(有料)など

設定記入シート

保守のための資料として、設定内容を記入し大切に保管してください。

商品名 VocaLink -ゲートキーパー Ver _____._____
シリアル番号 _____

ゲートキーパー用パソコンについて

OS WindowsNT Server (4.0) SP____ : Microsoft Data Access Components
Windows2000 Professional SP____
Windows2000 Server SP____

ネットワークカードの設定

カード1 IPアドレス _____.
カード2 IPアドレス _____.

ゲートキーパーコンソールパスワード

パスワード _____

特番

LAN電話使用番号

1 2 3 4 5 6 7 8 9

自事業所番号特番 _____

FAX発信特番 _____

規制

外線発信規制番号

クラスA： 発信規制なし

クラスB：

規制番号	規制番号	規制番号	規制番号

クラスC：

規制番号	規制番号	規制番号	規制番号

クラスD：

規制番号	規制番号	規制番号	規制番号

クラスE：

規制番号	規制番号	規制番号	規制番号

クラスF：

規制番号	規制番号	規制番号	規制番号

クラスG：

規制番号	規制番号	規制番号	規制番号

1
お使いになる前に

2
インストールする

3
設定する

4
メンテナンス

5
「」参考に

設定記入シート

クラスH:

規制番号	規制番号	規制番号	規制番号

クラスI:

規制番号	規制番号	規制番号	規制番号

クラスJ:

規制番号	規制番号	規制番号	規制番号

クラスK:

規制番号	規制番号	規制番号	規制番号

クラスL: 内線発信のみ

外-外転送規制設定

GW GW GW BSA BSA GW BSA BSA

グループ対応

内線代表グループ

グループ1 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ2 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ3 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ4 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ5 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ6 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ7 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ8 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

1
お使いになる前に

2
インストールする

3
設定する

4
メンテナンス

5
「」参考に

設定記入シート

グループ9 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ10 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ11 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ12 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ13 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ14 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ15 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

グループ16 代表番号 _____

LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号	LAN電話番号

トランクグループ(TG)

TG番号 _____ トランク種別(ISDN[GW]・OD[BSA])

IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
.	
.	
.	
.	

TG番号 _____ トランク種別(ISDN[GW]・OD[BSA])

IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
.	
.	
.	
.	

TG番号 _____ トランク種別(ISDN[GW]・OD[BSA])

IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
.	
.	
.	
.	

TG番号 _____ トランク種別(ISDN[GW]・OD[BSA])

IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
.	
.	
.	
.	

TG番号 _____ トランク種別(ISDN[GW]・OD[BSA])

IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
.	
.	
.	
.	

TG番号 _____ トランク種別(ISDN[GW]・OD[BSA])

IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
.	
.	
.	
.	

TG番号 _____ トランク種別(ISDN[GW]・OD[BSA])

IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
.	
.	
.	
.	

1
お使いになる前に

2
インストールする

3
設定する

4
メンテナンス

5
「」参考に

メンテナンス

帯域制御呼量

規制する 規制呼数(通話数) _____

通信ポート番号 _____

H.323関連・ネットワーク

ゲートキーパーアドレス _____ (カード _____)

ゲートキーパー識別子 _____

アドレス情報

GK発見マルチキャストアドレス 224.0.1.41 (_____)

GK発見ポート 1718 (_____)

GK登録/状態表示ポート 1719 (_____)

呼シグナリング用TCPポート 1720 (_____)

ユニキャスト有効

IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
.	
.	
.	
.	
.	
.	
.	

H.323関連・リトライ回数

UCF待ちタイムアウトリトライ回数 : 3回 (_____ 回)

DCF待ちタイムアウトリトライ回数 : 2回 (_____ 回)

LCF待ちタイムアウトリトライ回数 : 2回 (_____ 回)

IRR待ちタイムアウトリトライ回数 : 2回 (_____ 回)

保留削除要求応答待ちタイムアウト : 2回 (_____ 回)

H.323関連・タイマ

CONNECT待ち : 180秒 (_____ 秒)

CALLPROC待ち : 30秒 (_____ 秒)

ALERT待ち : 30秒 (_____ 秒)

DCF待ち : 3秒 (_____ 秒)

UCF待ち : 10秒 (_____ 秒)

LCF待ち : 5秒 (_____ 秒)

IRR待ち : 5秒 (_____ 秒)

転送確認応答待ち(CTIdentify) : 5秒 (_____ 秒)

転送発信応答待ち(CTSetup) : 5秒 (_____ 秒)

転送開始応答待ち(CTInitiate) : 5秒 (_____ 秒)

保留転送要求応答待ち(CallRerouting) : 5秒 (_____ 秒)

保留要求応答待ち : 5秒 (_____ 秒)

保留削除要求応答待ち : 5秒 (_____ 秒)

ACCEPTしてからSETUPを受信するまでの待ち : 5秒 (_____ 秒)

RELCOMP送信後、相手からのソケット切断待ち : 5秒 (_____ 秒)

GK間接続

H.225.0 AnnexG接続する

接続先情報

IPアドレス _____ . _____ . _____ . _____

ポート番号 2099 (_____)

接続先識別子 _____

パスワード(順方向) _____

パスワード(逆方向) _____

サービスリレーションシップ

確立要求を行う

確立要求を許可する

自H.225.0 AnnexG情報

受信ポート 2099 (_____)

識別子 _____

1

お使いになる前に

2

インストールする

3

設定する

4

メンテナンス

5

「」参考に

アルファベット

AnnexGでの接続状態を確認する	62
PC-AT互換機	9
VocaLink -ISDNゲートウェイ	6
VocaLink -ゲートキーパー	6
VocaLink -ビジネスシステムアダプタ	6
VocaLink -テレホンアダプタ	6

五十音

【ア行】

アップグレード

ゲートキーパーのアップグレード	24
-----------------	----

インストール

ゲートキーパーのインストール	10
コンソ - ルソフトのインストール	30

オフライン

既存ファイル選択	39
新規ファイル選択	39

オンライン-GK

項目選択	38
選択	36
データ設定 FAX関連	47
データ設定 GK間接続	56
データ設定 H.323関連・タイマ	55
データ設定 H.323関連・ネットワーク	52
データ設定 H.323関連・リトライ回数	54
データ設定 LAN電話対応	48
データ設定 規制	46
データ設定 グループ対応	49
データ設定 特番	41
データ設定 メンテナンス	51
保守 ゲートキーパー閉塞	61
保守 サービスリレーションシップ状態	62

保守 全システムデータ受信	60
保守 全システムデータ送信	59
保守 パスワード変更	58
ログイン	37

【カ行】

画面

FAX関連データ設定画面	47
LAN電話対応データ設定画面	48
GKアドレスデータ設定画面	36
GK選択画面	36
規制データ設定画面	46
項目選択画面	38
データ設定 FAX関連画面	47
データ設定 GK間設定画面	56
データ設定 H.323関連・タイマ画面	55
データ設定 H.323関連・ネットワーク画面	52
データ設定 H.323関連・リトライ回数画面	54
データ設定 LAN電話対応画面	48
データ設定 規制画面	46
データ設定 グループ対応画面	49
データ設定 特番画面	41, 43, 44, 45
データ設定 メンテナンス画面	51
特番設定画面	41, 43, 44, 45
トランクグループデータ設定画面	50
内線代表グループデータ代表画面	49
バージョン情報画面	36
保守 ゲートキーパー閉塞画面	61
保守 サービスリレーションシップ状態画面	62
保守 全システムデータ受信画面	60
保守 全システムデータ送信画面	59
保守 パスワード変更画面	58
モード選択画面	36
ユニキャスト接続先情報画面	52
ログイン画面	37

ゲートキーパーサービス

アンインストール	24
インストール	15

起動アカウントの設定	20
再インストール	29
再起動	23
ユーザアカウントの設定	10
ゲートキーパーのアップグレード	24
ゲートキーパーのインストール	10
ゲートキーパーのシステムデータ設定	29
ゲートキーパーのシステムデータバックアップ	24
ゲートキーパーを閉塞する	61
故障かな?と思ったら	64
コンソールソフト	
インストール	30
起動	32
基本操作	34
コンソールソフトのインストール	30
コンソールソフトの起動および基本操作	32

【サ行】

システム構成	6
事前準備	9
事前設定事項	9
設定画面の流れ	40
設定記入シート	66
設定内容	41
セットを確認してください	8
全システムデータを受信する(バックアップ)	60
全システムデータを送信する	59
操作の流れ	31

【タ行】

特長	7
特番 FAX発信について	43
特番 自事業所番号について	44
特番 他事業所番号について	45

【ハ行】

パスワードを変更する	58
保守サービスのご案内	65

【マ行】

メンテナンス	
AnnexGでの接続状態を確認する	62
ゲートキーパーを閉塞する	61

全システムデータを受信する (バックアップ)	60
全システムデータを送信する	59
その他	63
パスワードを変更する	58
メンテナンス画面の流れ	57
モード選択画面	36

使用権許諾契約書

本契約は、当社との間の契約です。本契約によって許諾されることに従いお客様が、当社が著作権を有するソフトウェア製品を使用することにより、お客様は使用権許諾契約書(以下「本契約」という。)に同意したことになります。本契約に同意できない場合には、本契約書およびソフトウェア製品を購入店にご返却ください。

第一条（契約対象の定義）

本契約の対象となるソフトウェア製品とは、当社が提供する「VocaLink -ゲートキーパー」及び「VocaLink -ゲートキーパー取扱説明書」を意味します。

第二条（使用許諾および著作権）

当社は、本契約に基づきお客様に対してソフトウェア製品の譲渡不能かつ非独占の日本国内における第三条に内容を定める権利を許諾します。

第三条（許諾事項、禁止事項）

- （１）お客様は、ソフトウェア製品を使用する際、お客様が購入した「VocaLink -ゲートキーパー」及び「VocaLink -ゲートキーパー取扱説明書」において、これに使用可能な状態で日本国内において、非独占的に使用することができます。
- （２）お客様は、ソフトウェア製品のバックアップとして保有する場合に限り、一式を複製することができます。また、ソフトウェア製品についていかなる改変・修正・リバースエンジニアリング・逆アセンブルも禁止とし、それに起因する障害については当社は一切の責任を負いません。
- （３）お客様は、上記（１）及び（２）に定める以外の権利を一切有しないものとし、上記（１）及び（２）に定めること以外のためにソフトウェア製品を使用できません。

第四条（契約の解除、終了）

お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、当社は本契約を解除し、お客様のご使用を終了させることができます。その場合、お客様は速やかにソフトウェア製品及びその複製物をお客様の負担にて返却するものとします。【(ご注意) 当社はその他法的処置をとることもあります。】

第五条（免責）

- （１）当社は、お客様がソフトウェア製品を購入された日から1年以内に限り、ソフトウェア製品が納められている媒体に物理的な欠陥があった場合は無償にて交換いたします。また、当社は物理的な紛失・盗難・事故による損害は補償致しません。
- （２）当社は、お客様に対し、当社がお客様に引き渡すソフトウェア製品については、特定物として現存するままの状態を提供し、法律上の瑕疵担保責任を含む全ての明示または暗示の保証を致しません。また、お客様は、ソフトウェア製品の使用に起因して被ったいかなる損害に対しても、責任を求めないものとします。

第6条（その他）

本契約に係わる紛争は、当社の本社所在地区を管轄する地方裁判所をお客様合意の管轄裁判所とします。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

©2001 NTTEAST・NTTWEST



本2062-3(2001.7)
VL-BGKトリセツ <A>